

# 横浜の川と海の生物

(第 16 報・河川編)

概要版



ニホンウナギ



コウガイセキショウモ



タイワンヒライソモドキ



オオイシソウ

令和 6 (2024) 年 3 月

横浜市環境科学研究所

# 目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果（水系別まとめ）	4
3. 各水系における調査結果概要	28
4. 各区における結果	31
4.1 区別集計結果	31
4.2 各区における結果概要	42
青葉区で確認された水生生物	43
旭区で確認された水生生物	44
泉区で確認された水生生物	45
磯子区で確認された水生生物	46
金沢区で確認された水生生物	47
港南区で確認された水生生物	48
港北区で確認された水生生物	49
栄区で確認された水生生物	50
瀬谷区で確認された水生生物	51
都筑区で確認された水生生物	52
鶴見区で確認された水生生物	53
戸塚区で確認された水生生物	54
保土ヶ谷区で確認された水生生物	55
緑区で確認された水生生物	56
南区で確認された水生生物	57
コラムの参考文献	58

## 表紙写真の説明

<b>ニホンウナギ</b> <i>Anguilla japonica</i> 侍従川水系侍従川 六浦二号橋 2023年9月1日	<b>コウガイセキシウモ</b> <i>Vallisneria × pseudorosulata</i> 鶴見川水系鶴見川 亀の甲橋 2023年8月29日
<b>タイワンヒライソモドキ</b> <i>Ptychognathus ishii</i> 境川水系境川 新屋敷橋 2023年8月31日	<b>オオイシソウ</b> <i>Compsopogon coeruleus</i> 鶴見川水系鶴見川 亀の甲橋 2023年1月13日

## 1. 調査概要

横浜市は、市内を流れる河川の6水系（鶴見川、帷子川、大岡川、境川、宮川、侍従川）について3～4年に1度の頻度で、魚類、底生動物、水草、付着藻類、水質などの調査を実施し、生物の生息状況を調べるとともに、生物指標を用いて水質評価を行っています。近年、下水道の普及に伴い、横浜市内を流れる河川の水質はかなり改善されてきており、生息する水生生物も以前に比べると多様になってきています。

この概要版では、2022年度、2023年度に実施した調査結果をまとめました。

### 【調査内容】

横浜市内を流れる6水系41地点で、水生生物の調査を冬季（2022年12月～2023年1月）と夏季（2023年7月～9月）に行いました。調査対象とした水生生物は、魚類、底生動物（エビ、カニ、貝類、水生昆虫など）、沈水植物およびオランダガラシ等（以下、水草※と表記）と抽水植物、付着藻類（藍藻、珪藻、緑藻など）と大型藻類（紅藻など）としました。抽水植物については、近年水辺で外来種が見られることから、その実態を把握するために調査を実施しました。大型藻類は別途目視調査を行いました。結果に重複があるので、ここでは付着藻類の結果に含めます。

### 【調査結果概要】

魚類は61種、底生動物は182種、水草は9種、抽水植物は18種、付着藻類は221種が確認されました。このうちレッドリスト等掲載種は39種（魚類22種、底生動物10種、水草0種、抽水植物2種、付着藻類5種）、外来種は57種（魚類26種、底生動物18種、水草5種、抽水植物5種、付着藻類3種）でした。

水生生物から水質を評価すると、2022年度冬季は41地点のうち「大変きれい」が30地点、「きれい」が10地点、「やや汚れている」が1地点、「汚れている」が0地点、「非常に汚れている」が0地点、「評価できない」が0地点でした。2023年度夏季は「大変きれい」が22地点、「きれい」が15地点、「やや汚れている」が3地点、「汚れている」が1地点、「非常に汚れている」が0地点、「評価できない」が0地点でした。

#### レッドリスト等掲載種

レッドリスト等掲載種は、環境省の改訂レッドリスト（2020）、環境省・水産庁の海洋生物レッドリスト（2017）（環境省RL、国）と、神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006、神奈川県レッドデータブック2022植物編（神奈川県RDB、県）に掲載されている種としました。

貴重性の高い方から、絶滅危惧Ⅰ類、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧、減少種、希少種、要注意種、注目種などにカテゴリー分けされています。環境省と神奈川県では、カテゴリーの分け方に多少の違いがあります。

#### 外来種

ここでいう外来種は、国外外来種（国外から持ち込まれた生物）、国内外来種（国内の他地域から持ち込まれた生物）、および品種を含みます。また魚類については、在来ではない可能性がある種、国内外来種と交雑の可能性がある種を由来不明種としています。

法的な規制については、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（以下、「外来生物法」）に基づき「特定外来生物」及び「条件付特定外来生物」が指定され、飼養・栽培・保管・運搬等が禁止されています。そのほかに、外来種対策の進展を図ることを目的に、環境省及び農林水産省が、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（以下、「生態系被害防止外来種リスト」と表記）を公表しています。

※横浜市はこれまで、沈水植物とオオフサモ（抽水植物）、指標種であるオランダガラシ（抽水植物）を対象として水草の調査を行ってきたため、今回もこれらを「水草」として表記しました。

表 1 調査地点一覧

No.	地点 番号	河川名	支川名	地点名	場 所
1	T1	鶴見川		水車橋	青葉区寺家町266番地先
2	T2	鶴見川		千代橋	都筑区川和町125番地先
3	T3	鶴見川		落合橋	都筑区佐江戸町25番地先
4	T4-1	鶴見川		第三京浜道路下	港北区小机町1918番地先
5	T4	鶴見川		亀の甲橋	港北区新羽町1120番地先
6	<u>T5-3</u> **	鶴見川		鷹野大橋	鶴見区駒岡5丁目22番地先
7	T6	鶴見川	寺家川	山田谷戸	青葉区寺家町880番地
8	T7	鶴見川	恩田川	堀の内橋	青葉区長津田町3丁目12番地先
9	T9	鶴見川	梅田川	神明橋	緑区三保町1345番地先
10	T8	鶴見川	恩田川	都橋	緑区中山町315番地先
11	T5-2	鶴見川	早渕川	境田橋	都筑区中川中央2丁目5番地先
12	T11	鶴見川	矢上川	一本橋	港北区日吉6丁目6番地先
13	K1	帷子川		大貫橋上流	旭区上川井町523番地先
14	K2	帷子川		上川井農専地区	旭区上川井町1749番地先
15	K3	帷子川		鶴舞橋	旭区鶴ヶ峰2丁目12番地先
16	K4-3	帷子川		横浜新道下	保土ヶ谷区和田1丁目6番地先
17	O1-1	大岡川		氷取沢 (左)	磯子区氷取沢町635番地先
18	O1	大岡川		氷取沢	磯子区氷取沢町582番地先
19	O2	大岡川		陣屋橋上流	磯子区上中里町676番地先
20	O3	大岡川		曲田橋	港南区笹下4丁目5番地先
21	O4-1	大岡川		日野川合流点下	港南区大久保2丁目1番地先
22	<u>O4</u>	大岡川		井土ヶ谷橋	南区南太田2丁目32番地先
23	O5	大岡川	日野川	高橋	港南区日野7丁目5番地先
24	S1	境川		目黒橋	瀬谷区目黒町2番地先
25	S2	境川		高鎌橋	泉区上飯田町579先
26	S3-4	境川		遊水地橋	戸塚区俣野町1608先
27	<u>S3</u>	境川		新屋敷橋	藤沢市鶴沼藤が谷1丁目11番地先
28	S4	境川	和泉川	地藏原の水辺	泉区和泉中央南4丁目3番地先
29	S3-3	境川	宇田川	まさかりが淵	戸塚区深谷町692番地先
30	S5	境川	子易川	岡津	泉区岡津町2727番地先
31	S7	境川	舞岡川	宮根橋上流	戸塚区南舞岡4丁目45番地先
32	S8	境川	柏尾川	大橋	戸塚区吉田町594番地先
33	S9***	境川	柏尾川	栄第二水再生センター下流	栄区長沼町182番地先
34	S11	境川	稲荷川	杉之木橋上流	栄区長倉町11番地先
35	S11-1	境川	いたち川	瀬上沢	栄区上綱町555番地先
36	S10	境川	柏尾川	鷹匠橋	栄区笠間3丁目31番地先
37	<u>M2</u>	宮川		桜橋	金沢区釜利谷東2丁目6番地先
38	M3	宮川		清水橋上流	金沢区釜利谷東5丁目12番地先
39	J1-1	侍従川		金の橋上流 (左)	金沢区朝比奈町226番地先
40	J1	侍従川		金の橋上流	金沢区朝比奈町226番地先
41	<u>J2</u>	侍従川		六浦二号橋	金沢区六浦4丁目25番地先

地点番号の下線：感潮域

※ T 5 末吉橋は架替工事期間であったため、代替地点として調査を行った。



図 1 調査地点 (流域は概略)

## 2. 調査結果（水系別まとめ）

### [魚類]

魚類は59種2品種の合計61種が確認されました。流域の規模が大きな鶴見川水系や境川水系では多くの種が確認され、鶴見川水系が41種で最も多く、次いで境川水系の39種でした。

表 2 確認された魚類

No.	科名	種名	生活環	調査水系					
				鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
1	ウナギ科	ニホンウナギ	D						●
2	コイ科	コイ(飼育型)	G	●			●		
-		コイ(型不明)	G	●	●	●	●		
3		コイ(改良品種型)	G	●	●		●		
4		キンギョ	G				●		
5		ギンブナ	G	●	●		●		
-		フナ属	G	●					
6		オイカワ	G	●	●	●	●		
7		カワムツ	G	●	●	●	●		
8		アブラハヤ	G	●	●	●	●	●	
9		タカハヤ	G			●			
-		アブラハヤ属	G			●			
10		マルタ	D	●	●	●			
11		ウグイ	G		●				
12		モツゴ	G	●	●			●	
13		タモロコ	G	●				●	
14		ホンモロコ	G		●				
15	カマツカ類	G	●				●		
16	イトモロコ	G	●						
17	ドジョウ科	ドジョウ(中国大陸系統)	G	●	●	●	●		
18		キタドジョウ関東集団	G				●		
-		ドジョウ類	G	●					
19		カラドジョウ	G	●					
20		ヒガシシマドジョウ	G		●	●			
21	フクドジョウ科	ホトケドジョウ	G	●	●	●			
22	ギギ科	ギギ	G	●					
23		ギバチ	G		●				
24	ナマズ科	ナマズ	G	●			●		
25	ロリカリア科	マダラロリカリア属	G				●		
26	アユ科	アユ	D	●	●	●	●		
27	ボラ科	ボラ	P	●	●	●	●	●	
28	カダヤシ科	カダヤシ	G	●			●	●	
29		グッピー	G				●		
30	メダカ科	ミナミメダカ	G	●	●	●	●	●	
31		メダカ(飼育品種)	G	●					
32	サヨリ科	サヨリ	P				●		
33	スズキ科	スズキ	P	●	●	●			
34	サンフィッシュ科	ブルーギル	G	●	●		●		
35		オオクチバス	G	●					
36	アジ科	イケカツオ	P				●		
37	ヒイラギ科	ヒイラギ	P				●		
38	タイ科	クロダイ	P	●					
39		キチヌ	P	●					
40	シマイサキ科	シマイサキ	P					●	
41	カワアナゴ科	チチブモドキ	D				●		
42	ハゼ科	ミミズハゼ	D				●		
43		マハゼ	P	●	●	●	●	●	●
44		アシシロハゼ	P	●		●	●	●	●
45		ボウズハゼ	D				●		
46		アベハゼ	P	●		●		●	●
47		シモフリシマハゼ	P	●					
48		ヌマチチブ	D	●	●	●	●		
49		チチブ	D		●	●	●	●	●
-		チチブ属	D	●	●	●			
50		ヒナハゼ	D	●			●	●	●
51		カワヨシノボリ	G	●			●		
52		シマヨシノボリ	D	●	●	●	●		●
53		ゴクラクハゼ	D	●	●	●	●		
54		クロダハゼ	G	●	●		●		
55		トウヨシノボリ類	D	●			●		
56		ウロハゼ	P	●		●	●		●
57		ツマグロスジハゼ	P						●
58		スミウキゴリ	D	●	●	●	●	●	●
59		ウキゴリ	D	●	●	●			
60		ヒリンゴ	D	●	●	●		●	●
61	タイワンドジョウ科	カムルチー	G				●		
種数				41	28	24	39	12	12
のべ地点数(調査地点数)				24	8	14	26	4	6

赤字：今回初記録種

生活環：

G(純淡水魚)

D(通し回遊魚)

P(周縁性淡水魚)

### ① レッドリスト等掲載種

レッドリスト等掲載種は22種でした。水系別では鶴見川水系と境川水系が12種と最も多く、次いで帷子川水系の11種でした。相模湾に流入する境川水系は、レッドリスト等掲載種の中でもチチブモドキやボウズハゼなどの回遊性の種類が特徴的でした。

またDNA分析を用いた手法で、横浜市内に生息するドジョウ類のなかにキタドジョウ関東集団とされる種が含まれていることが判明しました。これは神奈川県初記録です。

横浜市内では、タカハヤおよびナマズは国内他地域からの移入、ギバチは過去に水質悪化で絶滅したと考えられるため、国内外来種としました。またコイは主に放流由来と考えられ、カマツカ類は在来種のスナゴカマツカの生息地に国内外来種のカマツカが侵入していて、同定が困難です。また河川に生息しているミナミメダカは飼育個体の遺棄などにより、在来個体群ではない可能性が高いと考えられます。

表 3 魚類レッドリスト等掲載種

環境省 RL	神奈川県 RDB	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	備考	
絶滅危惧 I A 類	-	ホンモロコ		●					国内外来種	
絶滅危惧 I B 類	-	ニホンウナギ						●		
絶滅危惧 I B 類	絶滅危惧 I B 類	ホトケドジョウ	●	●	●					
絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 I A 類	ギバチ		●					国内外来種	
		ミナミメダカ	●	●	●	●	●		由来不明種	
準絶滅危惧	-	ドジョウ類 <sup>1)</sup>	●						由来不明種	
情報不足	-	キタドジョウ関東集団				●				
-	絶滅危惧 I B 類	タカハヤ			●				国内外来種	
	絶滅危惧 II 類	マルタ	●	●	●					
	準絶滅危惧	アブラハヤ	●	●	●	●	●			
		ウグイ		●						
		カマツカ類 <sup>2)</sup>	●			●				国内外来種
		ヒガシシマドジョウ		●	●					
		ボウズハゼ				●				
		ゴクラクハゼ	●	●	●	●				
	スミウキゴリ	●	●	●	●	●	●			
	注目種	ナマズ	●			●				国内外来種
		ウロハゼ	●		●	●		●		
	情報不足	コイ(型不明)	●	●	●	●				由来不明種
		キチヌ	●							
チチブモドキ					●					
ミズハゼ					●					
種数			12	11	10	12	3	3		

1)ドジョウ類は、ドジョウ(日本在来系統)の場合のランク。

2)カマツカ類は、スナゴカマツカの場合のランク。カマツカの場合は国内外来種。

注)レッドリスト等掲載種のカテゴリーは表 24 参照のこと

#### コラム 1 ドジョウとは(写真 魚類確認種 No. 17~19)

いままでドジョウと言っていた種は、実は複数種が混在していることが近年明らかになってきました。横浜では在来種のドジョウ(日本在来系統)、キタドジョウ関東集団と、外来種のドジョウ(中国大陸系統)、カラドジョウの4種が生息していると思われます。ただし今回の調査ではドジョウ(日本在来系統)は確認できませんでした。今回区別が困難なためにドジョウ類とした個体は、ドジョウ(中国大陸系統)と(日本在来系統)の交雑個体である可能性があります。

現在横浜の河川で一般的にみられるのはドジョウ(中国大陸系統)か、ドジョウ(中国大陸系統)と(日本在来系統)の交雑個体であり、純系のドジョウ(日本在来系統)はほぼ絶滅に近いのではないかと考えられます。そんな中、神奈川県初記録となるキタドジョウ関東集団が確認されたのは、今回うれしい話題でした。

## ② 外来種

外来種は26種で、いずれも純淡水魚でした。これは交雑種などを便宜的に含めた確認種64種の約4割に、純淡水魚35種の74%に相当します。つまり横浜市の河川に生息している純淡水魚のうち3/4の種が人為的に持ち込まれた種ということになります。

このうち海外から持ち込まれた外来種（国外外来種）は10種（うち品種1種）であり、外来生物法で「特定外来生物」に指定されている種が3種、生態系被害防止外来種リストの「その他の総合対策外来種」は3種、指定なしが4種（うち品種1種）です。また国内他地域からの移入種（国内外来種）は11種（うち品種2種）、由来不明種として5種のほか、観賞用に改良された2品種が確認されました。

今回鶴見川で、国内外来種でその他の総合対策外来種のギギの侵入が確認されました。ギギは、東海地方では絶滅危惧種で国の天然記念物であるネコギギの生息する河川で分布を広げ、また九州西部ではアリアケギバチ生息地にも移入していて、これら在来の近似種への影響が懸念されています。同様に鶴見川におけるギギの侵入と分布の拡大は、上流側の東京都に残存している在来種のギバチへの影響が懸念されるため、ギギの早急な排除対策が必要です。

コイはほとんどが放流個体であると考えられます。カマツカ属は、本来は在来種のスナゴカマツカの生息地ですが、国内外来種のカマツカが侵入しているため、同定が困難でした。またミナミメダカは飼育個体の遺棄などにより、河川においては在来個体群とは言えないと考えられます。

表4 魚類の外来種(国外外来種・国内外来種・由来不明種・品種)

	外来生物法	生態系被害防止外来種リスト	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	備考
国外外来種	特定外来生物	緊急対策外来種	ブルーギル	●	●		●			
			オオクチバス	●						
	-	重点対策外来種	カダヤシ	●			●	●		
			その他の総合対策外来種	カラドジョウ	●					
	-	-	マダラロリカリア属				●			
			グッピー				●			
			コイ(飼育型)	●			●			
			ドジョウ(中国大陸系統)	●	●	●	●			
	-	-	カムルチー				●			
			コイ(改良品種型)	●	●		●			国外外来種の品種
国内外来種	-	その他の総合対策外来種	ギギ	●						
			カワムツ	●	●	●	●			
	-	-	タカハヤ			●				
			タモロコ	●			●			
			ホンモロコ		●					
			イトモロコ	●						
			ギバチ		●					過去の河川環境から移入と判断
			ナマズ	●			●			
			カワヨシノボリ	●			●			
由来不明種	-	-	コイ(型不明)	●	●	●	●			放流由来(品種)の可能性
			アブラハヤ属			●				国内外来種との交雑個体の可能性
			カマツカ類	●			●			国内外来種との交雑個体の可能性
			ドジョウ類	●						国外外来種との交雑個体の可能性
			ミナミメダカ	●	●	●	●	●		飼育個体放流による交雑の可能性
			キンギョ				●			
メダカ(飼育品種)	●									
種数				18	8	6	16	2	0	

注) 外来種のカテゴリー等は表25参照のこと



写真 魚類確認種 (1)

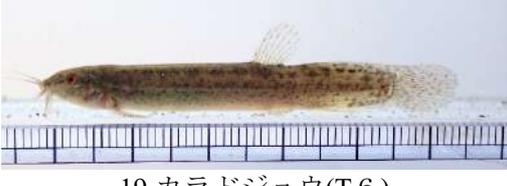
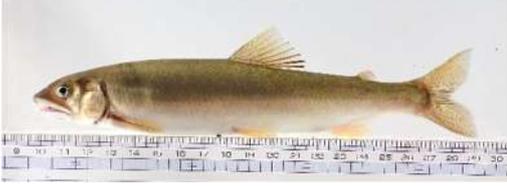
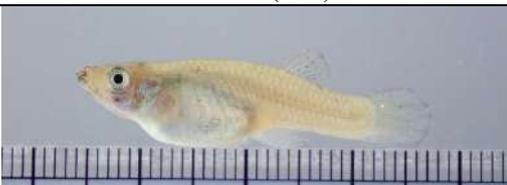
 <p>15.カマツカ類(T1)</p>	 <p>16.イトモロコ(T8)</p>
 <p>17.ドジョウ (中国大陸系統) (K1)</p>	 <p>18.キタドジョウ(S11-1)</p>
 <p>-.ドジョウ類(T9)</p>	 <p>19.カラドジョウ(T6)</p>
 <p>20.ヒガシシマドジョウ(K3)</p>	 <p>21.ホトケドジョウ(T9)</p>
 <p>22.ギギ(T3)</p>	 <p>23.ギバチ(K3)</p>
<p>(大型個体の目視確認のみ)</p> <p>24.ナマズ</p>	 <p>25.マダラロリカリア属(S1)</p>
 <p>26.アユ(S2)</p>	 <p>27.ボラ(M2)</p>
 <p>28.カダヤシ(T3)</p>	 <p>29.グッピー(S9)</p>

写真 魚類確認種 (2)

<p>30. ミナミメダカ (T 1)</p>	<p>31. メダカ (飼育品種) (T 7)</p>
<p>32. サヨリ (S 3)</p>	<p>33. スズキ (K4-3)</p>
<p>34. ブルーギル (T 2)</p>	<p>35. オオクチバス (T 2)</p>
<p>36. イケカツオ (S 3)</p>	<p>37. ヒイラギ (S 3)</p>
<p>38. クロダイ (T11)</p>	<p>39. キチヌ (T5-3)</p>
<p>40. シマイサキ (M 2)</p>	<p>41. チチブモドキ (S 3)</p>
<p>42. ミミズハゼ (S 3)</p>	<p>43. マハゼ (S10)</p>
<p>44. アシシロハゼ (S 3)</p>	<p>45. ボウズハゼ (S10)</p>

写真 魚類確認種 (3)

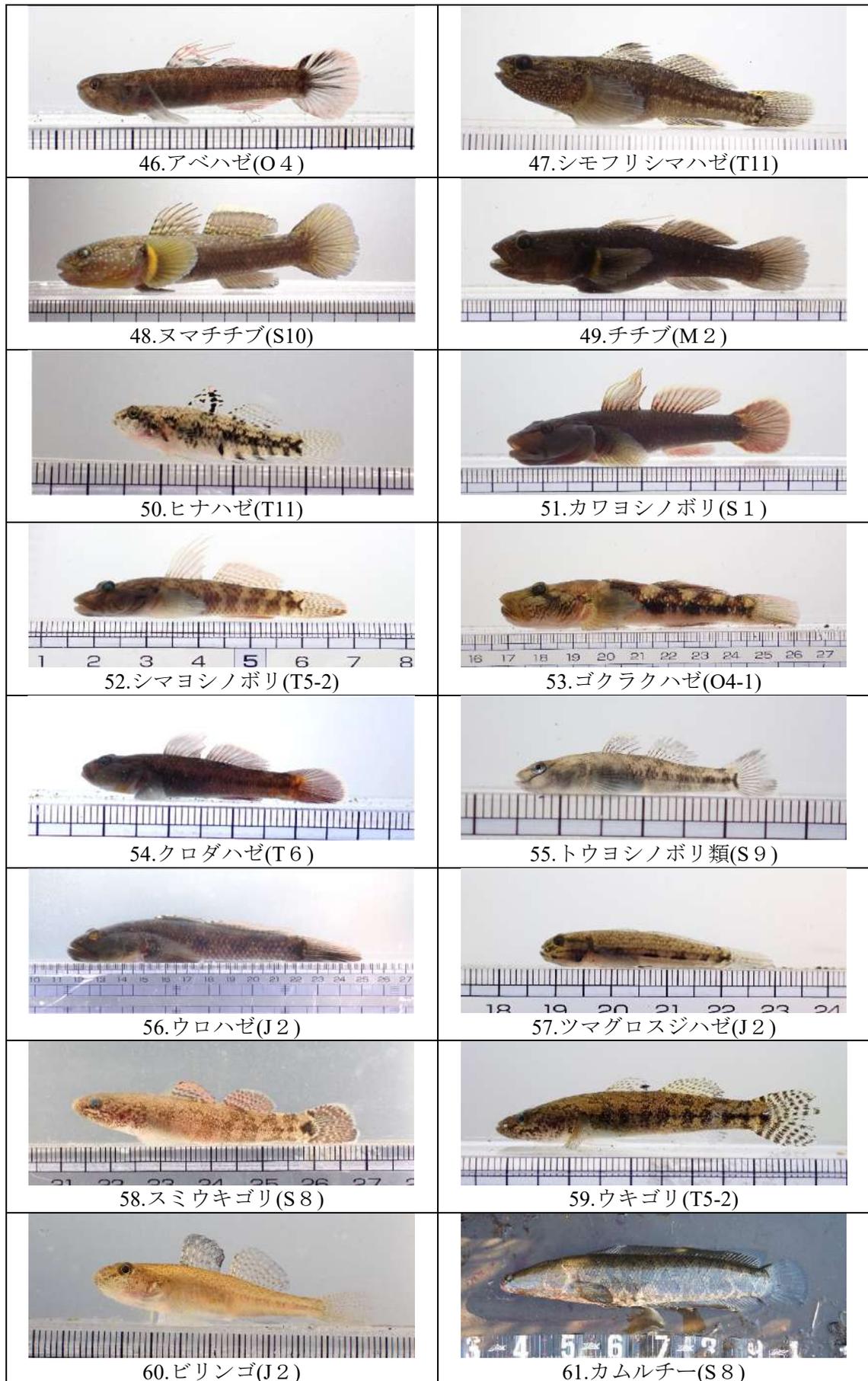


写真 魚類確認種 (4)

[底生動物]

底生動物は182種が確認されました。流程が長くて調査地点が多い境川水系が131種と多く、次いで大岡川水系が118種、鶴見川水系が101種でした。

表 5 (1) 確認された底生動物(水系別)

No.	種名	学名	調査水系					
			鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
1	タンスイカイメン類	Spongillidae	●			●		
2	ナミウズムシ	Dugesia japonica			●	●	●	●
3	アメリカツノウズムシ	Girardia dorotocephala	●	●	●	●	●	
4	マミズヒモムシ科	Tetrastemmatidae sp.	●			●		
5	紐形動物門	NEMERTINEA					●	
6	タテジマイソギンチャク	Haliplanelle lineata			●			
7	イシマキガイ	Cliothon retropictum				●		●
8	マルタニシ	Cipangopaludina chinensis laeta	●					
9	ヒメタニシ	Sinotaia quadrata histrica	●					
10	ウミニナ	Batillaria multiformis					●	
11	カワニナ	Semisulcospira libertina	●	●	●	●	●	●
12	アラムシロガイ	Nassarius festivus					●	●
13	コモチカワツボ	Potamopyrgus antipodarum			●		●	●
14	ウスイロオカチグサ	Solenomphala debilis			●	●		
15	カワコザラガイ属	Ferrissia sp.	●		●	●		
16	ヒメモノアラガイ	Orientogalba ollula	●		●	●		
17	モノアラガイ	Radix auricularia japonica	●					
18	モノアラガイ科	Limnaeidae sp.	●		●	●		
19	サカマキガイ	Physa acuta	●	●	●	●	●	
20	ヒラマキミズマイマイ	Gyraulus spirillus			●	●		
21	ヒロマキミズマイマイ	Menetus dilatatus	●			●		
22	ホトトギスガイ	Arcuatula senhousia					●	
23	コウロエンカワヒバリガイ	Xenostrobus securis			●		●	●
24	タイワンシジミ	Corbicula fluminea	●	●	●	●	●	
25	マメシジミ属	Pisidium sp.	●	●	●	●		
26	ドブシジミ属	Musculium sp.		●				
27	イガイダマシ	Mytilopsis sallei	●		●		●	
28	マガキ	Magallana gigas			●	●	●	●
29	ヤマトカワゴカイ	Hediste diadroma	●		●	●	●	●
30	Polydora属	Polydora sp.			●	●	●	●
31	Capitella属	Capitella sp.	●		●	●	●	●
32	カニヤドリカンザシゴカイ	Ficopomatus enigmaticus			●			
33	ヒメミミズ科	Enchytraeidae spp.	●	●	●	●		●
34	エラムミズ	Branchiura sowerbyi	●	●		●		
35	ミズミミズ亜科	Naidinae spp.	●	●	●	●	●	●
36	イトミミズ亜科	Tubificinae spp.	●	●	●	●	●	●
37	アメリカヤドリミミズ	Cambarincola mesochoreus	●					
38	ヌマビル	Helobdella stagnalis			●			
39	シマイシビル	Dina lineata	●	●	●	●		
40	ピロウドイシビル	Erpobdella testacea	●	●	●	●		
41	タテジマフジツボ	Amphibalanus amphitrite			●			●
42	アメリカフジツボ	Amphibalanus eburneus			●		●	●
43	ヨーロッパフジツボ	Amphibalanus improvisus						●
44	シロスジフジツボ	Fistulobalanus albicostatus			●		●	●
45	キスイタナイス	Sinelobus stanfordi					●	●
46	イソコツブムシ属	Gnoriomphaeroma sp.					●	●
47	ミズムシ	Asellus hilgendorffii	●	●	●	●	●	●
48	ドロクダムシ属	Corophium sp.	●		●		●	●
49	ニホンドロソコエビ	Grandidierella japonica				●	●	●
50	フロリダマミズヨコエビ	Crangonyx floridanus	●	●	●	●		
51	アゴトゲヨコエビ	Jesogammarus spinopalpus				●		
52	メリタヨコエビ属	Melita sp.					●	
53	ミソレヌマエビ	Caridina leucosticta	●	●	●	●		
54	カワリヌマエビ属	Neocaridina sp.	●	●	●	●	●	
55	ヌマエビ	Paratya compressa compressa						●
56	ヌカエビ	Paratya compressa improvisa			●		●	
57	ミナミテナガエビ	Macrobrachium formosense				●		●
58	ヒラテナガエビ	Macrobrachium japonicum	●	●	●	●		
59	テナガエビ	Macrobrachium nipponense	●			●		
60	ユビナガスジエビ	Palaemon macrodactylus	●		●	●	●	●
61	スジエビ	Palaemon paucidens	●	●	●	●		
62	スジエビモドキ	Palaemon serrifer						●
63	シラタエビ	Palaemon orientis	●		●			●
64	アメリカザリガニ	Procambarus clarkii	●	●	●	●	●	
65	チチュウカイミドリガニ	Carcinus aestuarii					●	
66	タイワンガザミ	Portunus pelagicus				●		
67	アカテガニ	Chromantes haematocheir	●					
68	クロベンケイガニ	Orisarma dehaani	●				●	●
69	モクズガニ	Eriocheir japonicus	●			●	●	

表 5 (2) 確認された底生動物(水系別)

No.	種名	学名	調査水系					
			鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
70	タイワンヒライソモドキ	<i>Ptychognathus ishii</i>				●	●	●
71	ケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	●			●	●	
72	チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>						●
73	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaanii</i>			●	●		
74	マエグロヒメフタオカゲロウ	<i>Ameletus costalis</i>			●	●		
75	ミツオミジカオフタバコカゲロウ	<i>Acentrella gnom</i>				●		
76	ミジカオフタバコカゲロウ	<i>Acentrella sibirica</i>				●		
77	ヨシノコカゲロウ	<i>Alainites yoshinensis</i>			●	●	●	
78	フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>				●		
79	サホコカゲロウ	<i>Baetis sahoensis</i>	●			●		
80	フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>	●	●	●	●		●
81	シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	●	●	●	●	●	●
82	フタバカゲロウ属	<i>Cloeon</i> sp.	●			●		
83	ウスイロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labiobaetis atrebatinus orientalis</i>	●	●	●			●
84	Dコカゲロウ	<i>Nigrobaetis</i> sp. D				●		
85	ヒメウスバコカゲロウ属	<i>Proclaeon</i> sp.			●			
86	ウデマガリコカゲロウ	<i>Temübaetis flexifemora</i>	●	●	●	●		
87	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>			●	●		
88	フタスジモンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>			●	●		●
89	オオクママダラカゲロウ	<i>Cincticostell elongatula</i>			●	●		
90	エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>	●	●		●		
91	ヒメシロカゲロウ属	<i>Caenis</i> sp.	●	●	●	●		
92	アジアイトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>	●		●	●		
93	ハグロトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>	●	●	●	●		
94	アサヒナカワトンボ	<i>Mnais pruinosa</i>			●	●	●	●
95	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	●		●	●	●	
96	ダビドサナエ	<i>Davidius nanus</i>			●	●		●
97	オナガサナエ	<i>Onychogomphus viridicostus</i>		●	●	●		
98	コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	●	●	●	●		●
99	オジロサナエ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	●					
100	クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>				●		
101	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>		●	●	●		
102	コシボソヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	●	●	●	●		●
103	ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>			●	●	●	●
104	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>		●	●	●	●	●
105	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	●	●	●	●		
106	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	●	●	●	●		
107	コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>				●		
108	フサオナシカワゲラ属	<i>Amphinemura</i> sp.			●			●
109	オナシカワゲラ属	<i>Nemoura</i> sp.		●	●	●	●	●
110	ホソカワゲラ科	<i>Leuctridae</i> sp.			●			●
111	ヤマトフタツメカワゲラ	<i>Neoperla niponensis</i>			●	●	●	●
112	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	●	●	●	●		
113	シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>	●		●	●	●	●
114	クロチビミズムシ	<i>Micronecta orientalis</i>	●			●		
115	コミズムシ属	<i>Sigara</i> sp.	●					
116	センブリ属	<i>Sialis</i> sp.			●	●	●	●
117	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>			●	●	●	●
118	ヘビトンボ	<i>Prothermes grandis</i>			●	●		
119	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	●	●				
120	ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>			●	●		●
121	ニセミヤマシマトビケラ属	<i>Homopletra</i> sp.			●			
122	ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	●	●	●	●		●
123	クダトビケラ属	<i>Psychomyia</i> sp.	●			●		
124	ムネカクトビケラ	<i>Ecnomus tenellus</i>				●		
125	キヨスミナガレトビケラ	<i>Rhyacophila kiyosumiensis</i>				●		
126	ヒメトビケラ属	<i>Hydroptila</i> sp.	●	●	●	●		●
127	カクツツトビケラ属	<i>Lepidostoma</i> sp.		●	●	●	●	●
128	コエグリトビケラ属	<i>Apatania</i> sp.			●	●		●
129	コバントビケラ	<i>Anisocentropus kawamura</i>				●		
130	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	●	●	●	●		
131	アオヒゲナガトビケラ属	<i>Mystacides</i> sp.	●	●	●	●		
132	セグロトビケラ	<i>Limnephilus fuscovittatus</i>	●					
133	トウヨウグマガトビケラ	<i>Gumaga orientalis</i>			●	●	●	●
134	モンキマメゲンゴロウ	<i>Platambus pictipennis</i>			●			●
135	ヒラタガムシ属(幼虫)	<i>Enochrus</i> sp. (larvae)	●					
136	ゲンジボタル(幼虫)	<i>Luciola cruciata</i> (larvae)	●		●	●	●	●
137	チビヒゲナガハナノミ属	<i>Ectopria</i> sp.	●			●		
138	クシヒゲマルヒラタドROMシ	<i>Eubrianax granicollis</i>	●		●	●		
139	ドROMシ科(幼虫)	<i>Doriopidae</i> (larvae)						●
140	ヒメツヤドROMシ(幼虫)	<i>Zaitzeviaria brevis</i> (larvae)			●	●		●
141	ヒメガガンボ属	<i>Antocha</i> sp.	●	●	●	●		●
142	Dicranota属	<i>Dicranota</i> sp.			●	●		
143	エリオプテラ属	<i>Erioptera</i> sp.	●					
144	ヒゲナガガガンボ属	<i>Hexatoma (Eriocera)</i> sp.			●	●		
145	Limnophila属	<i>Limnophila</i> sp.				●		
146	Yamatotipula垂属	<i>Tipula (Yamatotipula)</i> sp.	●	●	●	●		●
147	Nippotipula垂属	<i>Tipula (Nippotipula)</i> sp.	●		●	●		●

表 5 (3) 確認された底生動物(水系別)

No.	種 名	学 名	調査水系					
			鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
148	チョウバエ属	<i>Psychoda</i> sp.	●	●				
149	ハネヒラチョウバエ属	<i>Telmatoscopus</i> sp.			●			●
150	ホソカ属	<i>Dixa</i> sp.			●	●	●	●
151	ツノマユブユ属	<i>Eusimulium</i> sp.			●	●	●	●
152	アシマダラブユ属	<i>Simulium</i> sp.	●	●	●	●		
153	ボカシヌマユスリカ属	<i>Macropelopia</i> sp.	●		●			
154	ヤマトヒメユスリカ族	<i>Pentaneurini</i> spp.	●	●	●	●	●	●
155	サワユスリカ属	<i>Potthastia</i> sp.		●		●		
156	ケブカエリユスリカ属	<i>Brillia</i> sp.		●	●	●		●
157	ハダカエリユスリカ属	<i>Cardiocladius</i> sp.	●	●		●		
158	コナユスリカ属	<i>Corynoneura</i> sp.	●		●	●	●	
159	ツヤユスリカ属	<i>Cricotopus</i> sp.	●	●	●	●		
160	テンマクエリユスリカ属	<i>Eukiefferiella</i> sp.	●	●	●	●		
161	キリカキケバネエリユスリカ属	<i>Heterotriissocladius</i> sp.			●	●		
162	エリユスリカ属	<i>Orthocladius</i> sp.	●	●	●	●		
163	ニセトゲアシエリユスリカ属	<i>Parachaetocladius</i> sp.			●			
164	ニセナガレツヤユスリカ属	<i>Paracricotopus</i> sp.	●	●	●	●	●	
165	ニセケバネエリユスリカ属	<i>Parametriocnemus</i> sp.	●	●	●	●	●	●
166	ナガレツヤユスリカ属	<i>Rheocricotopus</i> sp.	●	●	●	●		
167	ヌカユスリカ属	<i>Thienemaniella</i> sp.	●		●	●		
168	トクナガエリユスリカ属	<i>Tokunagaia</i> sp.	●	●	●	●		
169	セスジユスリカ	<i>Chironomus yoshimatsui</i>	●			●		
170	ユスリカ属	<i>Chironomus</i> sp.	●	●	●	●		●
171	カマガタユスリカ属	<i>Cryptochironomus</i> sp.	●	●				
172	ホソミユスリカ属	<i>Dicrotendipes</i> sp.	●					
173	セボリユスリカ属	<i>Glyptotendipes</i> sp.	●					
174	ナガスネユスリカ属	<i>Micropectra</i> sp.			●			●
175	ツヤムネユスリカ属	<i>Microtendipes</i> sp.	●		●	●		●
176	カワリユスリカ属	<i>Paratendipes</i> sp.	●		●	●		
177	ハモンユスリカ属	<i>Polypedilum</i> spp.	●	●	●	●	●	●
178	ナガレユスリカ属	<i>Rheotanytarsus</i> sp.	●	●	●	●		●
179	ヒゲユスリカ属	<i>Tanytarsus</i> sp.	●		●	●	●	●
180	コモンナガレアブ	<i>Atrichops morimotoi</i>	●		●	●		
181	サツマモンナガレアブ	<i>Suragina satsumana</i>				●	●	●
182	アシナガバエ科	Dolichopodidae sp.	●					
種 類 数			101	60	118	131	58	73

コラム2 アメリカザリガニに付着しているヒルミミズ

ミミズ類やヒル類、ゴカイ類などの環形動物に含まれるヒルミミズ類（ザリガニミミズ類）は、体長 10mm ほどの円筒形で、ザリガニ類やエビ類に共生して、体表や鰓などに付着しています。

日本産のヒルミミズ類は、在来のニホンザリガニに共生していて、北海道で 10 種、本州では 3 種のザリガニミミズが記録されています（大高、2004）。

一方、アメリカザリガニは 1927 年にウシガエルの餌として日本に輸入された個体が広まったとされていますが、輸入個体にはヒルミミズ類は共生していなかったようで、今までは確認されていませんでした。ところが 2016 年に東京都の善福寺川で、アメリカザリガニにヒルミミズが多数付着していることが確認されました（杉並区、2016）。この種は、Ohtaka *et al.* (2017) によりアメリカに生息している *Cambarincola mesochoreus* と同定され、アメリカヤドリミミズと命名されました。その後、世田谷区の野川（世田谷区、2017）や、多摩川水系および神田川・善福寺川（東京都立多摩科学技術高等学校、2021）でも報告されています。これらはおそらく近年になってペットショップ等が輸入したアメリカザリガニに共生していたものが野外に広がったと考えられています。

今回の横浜市の調査では、鶴見川水系の梅田川（T9）でアメリカヤドリミミズが見つかりました。まだ 1 地点からの確認ですが、今後広がる可能性が考えられます。



アメリカヤドリミミズ(標本写真) (1メモリ1mm)

### ① レッドリスト等掲載種

レッドリスト等掲載種は10種で、貝類が4種、甲殻類が1種、トンボ類が5種でした。

表 6 確認されたレッドリスト等掲載種

環境省 RL	神奈川県 RDB	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
絶滅危惧Ⅱ類	—	マルタニシ	●					
準絶滅危惧	—	ウミニナ					●	
	—	モノアラガイ	●					
	—	台湾ヒライソモドキ				●	●	●
情報不足	—	ヒラマキミズマイマイ				●		
—	準絶滅危惧	コヤマトンボ	●	●	●			
	要注意	ハグロトンボ	●	●	●	●		
		ヤマサナエ	●		●	●	●	
		コシボソヤンマ	●	●	●	●		●
		ミルンヤンマ			●	●	●	●
種数			6	3	5	6	4	3

注) レッドリスト等掲載種のカテゴリーは表 24 参照のこと

そのほかに水辺の目標種として使われることもあるゲンジボタルは、6地点で確認されました。横浜市内でも、源流域ではゲンジボタルを見ることが出来ます。

表 7 ゲンジボタル(幼虫)確認地点

水系	地点名
鶴見川	寺家川、山田谷戸
大岡川	氷取沢
境川	稲荷川の杉之木橋上流
	いたち川上流の瀬上沢
宮川	清水橋上流
侍従川	金の橋上流



ゲンジボタル幼虫

## ② 外来種

外来種は18種（外来種の可能性を含む）が確認されました。ウズムシ類（プラナリアの仲間）が1種、貝類が8種、ゴカイ類が1種、ヒル類が1種、フジツボ類が3種、ヨコエビ類が1種、エビ・カニ類が3種でした。

このうち外来生物法で「条件付特定外来生物」に指定されている種としてアメリカザリガニ、生態系被害防止外来種リストの「その他の総合対策外来種」が10種確認されました。

外来種は7種が汽水～海水に生息する種で、11種が淡水に生息する種でした。

汽水～海水に生息する種は、コウロエンカワヒバリガイ、イガイダマシ、カニヤドリカンザシゴカイ、タテジマフジツボ、アメリカフジツボ、ヨーロッパフジツボ、チチュウカイミドリガニが確認されました。

淡水に生息する種は、市内でよくみられるアメリカザリガニのほか、フロリダマミズヨコエビなどが確認されました。また新たにアメリカザリガニに寄生するアメリカヤドリミミズが確認されています。カワリヌマエビ属は、2008年度に4地点で確認されて以来、2011年度に13地点、2015年度は23地点、2019年度は32地点、2023年度は29地点と、近年大きく生息範囲を広げています。

表 8 確認された外来種

カテゴリー等	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
条件付特定外来生物 緊急対策外来種	アメリカザリガニ	●	●	●	●	●	
国外外来種	コモチカワツボ			●		●	●
その他の総合対策外来種	コウロエンカワヒバリガイ			●		●	●
	台湾シジミ	●	●	●	●	●	
	イガイダマシ	●		●		●	
	カニヤドリカンザシゴカイ			●			
	タテジマフジツボ			●			●
	アメリカフジツボ			●		●	●
	ヨーロッパフジツボ						●
	フロリダマミズヨコエビ	●	●	●	●		
	チチュウカイミドリガニ					●	
	国外外来種	アメリカツノウズムシ	●	●	●	●	●
	サカマキガイ	●	●	●	●	●	
	ヒロマキミズマイマイ	●			●		
	アメリカヤドリミミズ	●					
	カワリヌマエビ属	●	●	●	●	●	
国外外来種？	モノアラガイ科	●		●	●		
国内外来種	ウスイロオカチグサ	●			●		
種数		11	6	13	9	10	5

注) 外来種のカテゴリー等は表 25 参照のこと

網掛：汽水～海水に生息する種



マルタニシ「国:絶滅危惧Ⅱ類」



ウミナ「国:準絶滅危惧」



モノアラガイ「国:準絶滅危惧」



ヒラマキミズマイマイ「国:準絶滅危惧」



台湾ヒライソモドキ「国:準絶滅危惧」



ハグロンボ「県:要注意種」



コヤマトンボ「県:準絶滅危惧」



ヤマサナエ「県:要注意種」



コシボソヤンマ「県:要注意」

写真

底生動物の主なレッドリスト等掲載種



アメリカツノウズムシ  
「国外外来種」



コモチカワツボ  
「その他の総合対策外来種」



コウロエンカワヒバリガイ  
「その他の総合対策外来種」



アメリカフジツボ  
「その他の総合対策外来種」



フロリダマミズヨコエビ  
「その他の総合対策外来種」



カワリヌマエビ属  
「国外外来種」

写真

底生動物の主な外来種

### コラム3 (1) 横浜に生息するテナガエビ科

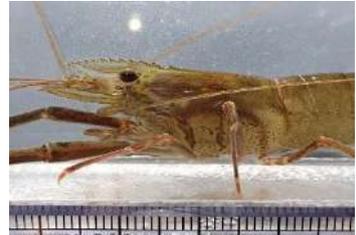
横浜市内の河川に生息しているテナガエビ科には、河川の淡水域で生活するスジエビ、チュウゴクスジエビ（外来種）、テナガエビ（一部汽水）、河口の汽水域から遡上してくるミナミテナガエビ、ヒラテテナガエビ、汽水域に生息するユビナガスジエビ、スジエビモドキ、シラタエビなどがあります。

この中で河川の淡水域にみられるテナガエビ属は、テナガエビ、ミナミテナガエビ、ヒラテテナガエビの3種です。今回の調査では、テナガエビは境川と鶴見川の2河川、ミナミテナガエビは境川水系と侍従川水系の2河川、ヒラテテナガエビは、境川水系、大岡川水系、帷子川水系、鶴見川水系で確認されています。

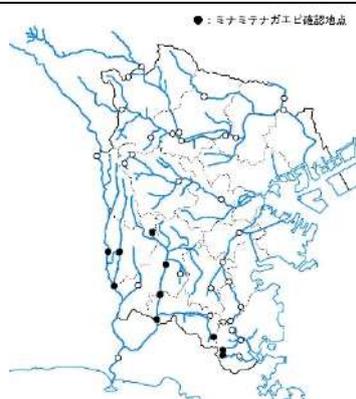
テナガエビ属は、その名の通り、どの種も第2胸脚が長く、特に雄で顕著です。ヒラテテナガエビは他の種に比べて第2胸脚がやや短く、太くて平たいのが特徴です。

頭胸部の側面の模様は、テナガエビとミナミテナガエビはm字形で似ていますが、ヒラテテナガエビは模様の形が違います。また脚の爪は歩いて遡上するために適応しており、テナガエビは細長く、ヒラテテナガエビは太く短く、ミナミテナガエビはテナガエビよりも少し短いことで区別できます。

これら3種の他に、横浜市が行った調査で、金沢区の小柴自然公園の水路からコンジテンテナガエビが確認されています（七里ほか、2022）。コンジテンテナガエビは、沖縄で多く見られる種であり、幼生が黒潮に乗って本州に移動してきますが、本州では越冬できず、繁殖できません。



テナガエビ



ミナミテナガエビ

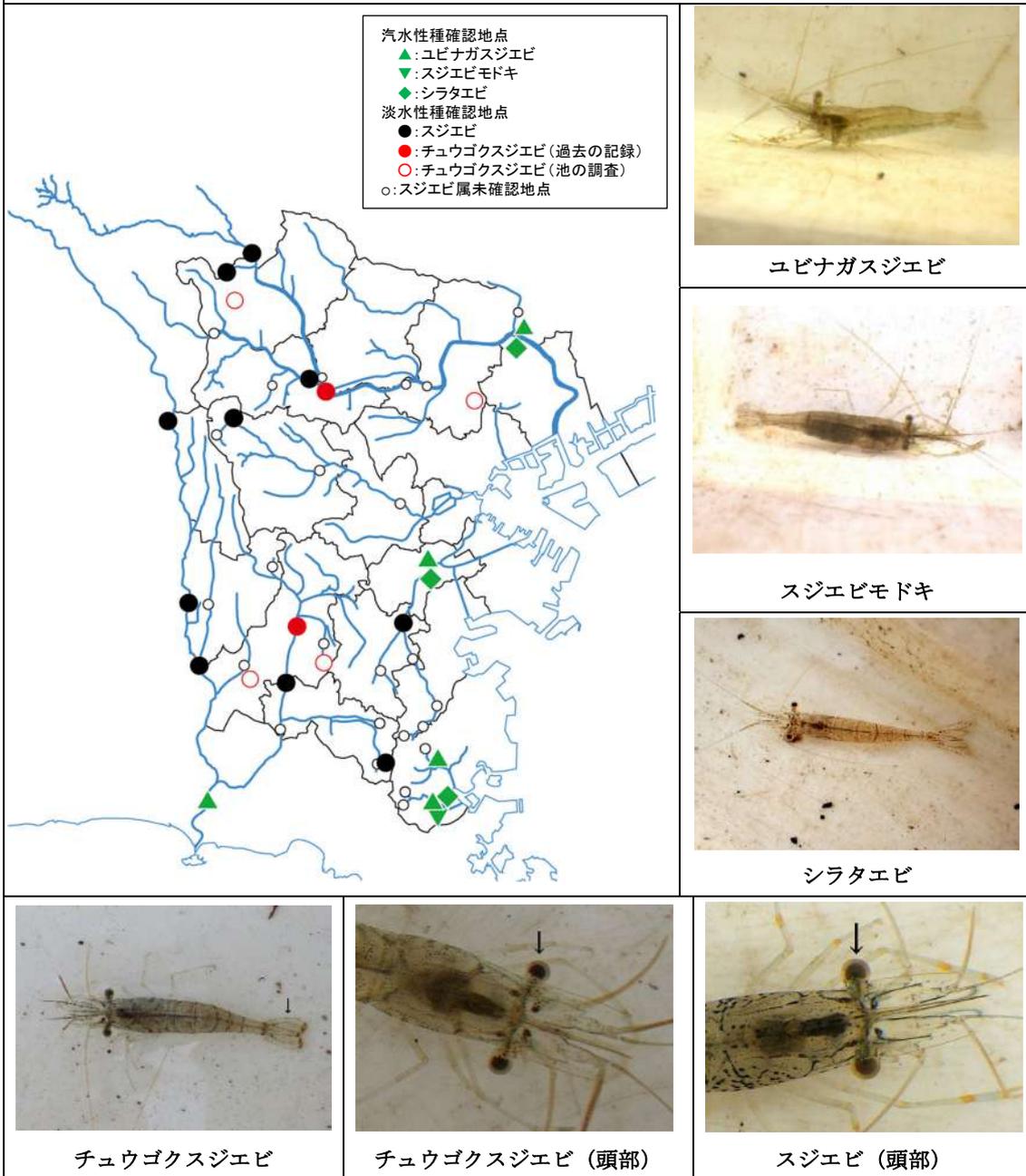


ヒラテテナガエビ

### コラム3 (2) 横浜に生息するテナガエビ科

河口の汽水域に生息するスジエビ属は、ユビナガスジエビ、スジエビモドキ、シラタエビの3種です。ユビナガスジエビとスジエビモドキは、テナガエビ属ほどではないですが、第2胸脚が長いのが特徴です。スジエビモドキの腰の部分には黒い線があります。

河川や池の淡水域に生息するスジエビ属にはスジエビがいます。また、最近になって横浜市内で見られるようになったのが、外来種のチュウゴクスジエビです。横浜市環境科学研究所が調べた公園の池の調査では、舞岡公園（さくらなみ池・宮田池）、弘法池公園、桜台公園、菊名池公園の4カ所でチュウゴクスジエビが見つかっています。河川では、過去の調査で鶴見川（T3）と境川（S8）で記録されています。2種の区別点として、スジエビの眼は柄の部分の部分が短く大きめ、チュウゴクスジエビの眼は柄の部分の部分が少し長く小さめなことと尾の中央に模様がないことで区別できます。外形全体はよく似ています。



〔水草〕（沈水植物及びオランダガラシ）

水草は9種が確認されました。このうち在来種は4種、外来種は5種確認され、外来種はいずれも国外外来種でした。オオフサモは外来生物法で「特定外来生物」に指定されています。その他に生態系被害防止外来種リストの「重点対策外来種」が4種確認されました。「重点対策外来種」のオランダガラシは一般的にはクレソンの名称で食用とされているものです。コウガイセキショウモは、鶴見川中流域で広く分布しています。

表 9 確認された水草とカテゴリー等

レッドリスト等	外来生物法	生態系被害防止 外来種リスト	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
(在来種)	—	—	ホザキノフサモ	●					
			エビモ		●	●			
			アイノコイトモ	●		●			
			ヤナギモ	●					
(国外外来種)	—	重点対策外来種	オランダガラシ	●	●		●		
			オオカナダモ	●	●				
			コカナダモ			●			
		特定外来生物	緊急対策外来種	コウガイセキショウモ	●				
			オオフサモ	●					
種数				7	3	3	1	0	0
調査地点数				12	4	7	13	2	3

注) レッドリスト等掲載種、外来種のカテゴリー等は表 24、表 25 参照のこと



ホザキノフサモ



エビモ



アイノコイトモ



ヤナギモ



オランダガラシ



オオカナダモ



コカナダモ



コウガイセキショウモ



オオフサモ

写真 横浜市内の水草

[抽水植物]

抽水植物は18種（ウキクサ類1種を含む）が確認されました。このうち在来種は13種で、レッドリスト等掲載種のみズキンバイとタコノアシが確認されました。また外来種は5種が確認され、いずれも国外外来種でした。このうちオオカワヂシャは外来生物法で「特定外来生物」に指定されています。その他に生態系被害防止外来種リストの「重点対策外来種」が3種、「その他の総合対策外来種」が1種確認されました。

表 10 確認された抽水植物とカテゴリー等

レッドリスト等	外来生物法	生態系被害防止 外来種リスト	種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
環境省：絶滅危惧Ⅱ類 神奈川県：絶滅危惧Ⅱ類	—	—	みズキンバイ				●		
環境省：準絶滅危惧	—	—	タコノアシ				●		
(在来種)	—	—	セリ	●			●		
			クサヨシ	●	●	●			
			ヨシ	●	●		●		
			ツルヨシ	●			●	●	
			マコモ				●		
			セキショウ	●		●	●	●	●
			アオウキクサ		●		●		
			ヒメガマ	●	●		●		
			カンガレイ	●					
			サンカクイ	●			●		
ケイヌビエ				●					
(国外外来種)	—	その他の総合対策外来種	キシユウスズメノヒエ				●		
	—	重点対策外来種	ウチワゼニクサ	●	●	●	●		
			キショウブ	●			●	●	
			コゴメイ	●			●		
特定外来生物	緊急対策外来種	オオカワヂシャ	●	●		●			
種数				12	6	3	16	3	1
調査地点数				12	4	7	13	2	3

注) レッドリスト等掲載種、外来種のカテゴリー等は表 24、表 25 参照のこと



みズキンバイ



タコノアシ



ツルヨシ



セキショウ



キショウブ



オオカワヂシャ

写真 横浜市内の主な抽水植物

[付着藻類]

大型藻類を含めた付着藻類は 221 種が確認されました。流程が長くて調査地点が多い河川で多くの種が確認されました。鶴見川水系と境川水系が 147 種と最も多く、大岡川水系が 104 種でした。

表 11 (1) 確認された付着藻類(水系別)

●は定量調査、○は大型藻類調査(目視のみ)

No.	綱名	和名	学名	調査水系						
				鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	
1	藍藻綱	アフノカプサ属	<i>Aphanocapsa</i> sp.	●		●				
2		カロスリックス属	<i>Calothrix</i> sp.	●		●				
3		コンボウランソウ属	<i>Chamaesiphon</i> sp.	●	●	●	●	●	●	
4		クロオコックス属	<i>Chroococcus</i> sp.			●				
5		エントフィザリス属	<i>Entophysalis</i> sp.		●					
6		ピロウドラソウ	<i>Homoeothrix janthina</i>	●	●	●	●	●	●	
7		リングピア属	<i>Lyngbya</i> sp.	●		●	●	●	●	
8		ユレモ属	<i>Oscillatoria</i> sp.			●	●			
9		サヤユレモ属	<i>Phormidium</i> sp.	●	●	●	●	●		
10		クセノコックス属	<i>Xenococcus</i> sp.	●	●	●	●	●		
11	珪藻綱	マガリケイソウ属	<i>Achnanthes amoena</i>			●		●		
12		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes brevipes</i> var. <i>intermedia</i>	●		●	●	●	●	
13		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes clevei</i>		●	●			●	
14		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes conspicua</i>			●	●		●	
15		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes delicatula</i>	●		●	●		●	
16		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes exigua</i>	●		●	●		●	
17		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes inflata</i>	●		●				
18		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes japonica</i>	●	●	●	●			
19		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes kuwaitensis</i>			●	●	●	●	
20		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes lanceolata</i>	●	●	●	●	●	●	
21		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes lapidosa</i>						●	
22		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes laterostrata</i>	●						
23		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes minutissima</i>	●	●	●	●	●	●	
24		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes rupestroides</i>			●	●	●	●	
25		マガリケイソウ属	<i>Achnanthes subhudsonis</i>	●	●	●	●		●	
26		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora acutiuscula</i>	●		●	●	●		
27		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora angusta</i>			●	●	●	●	
28		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora coffeaeformis</i>			●	●	●	●	
29		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora copulata</i>	●		●				
30		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora laevisima</i>			●		●		
31		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora montana</i>	●	●	●	●			
32		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora normanii</i>			●	●		●	
33		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora pediculus</i>	●	●	●	●	●	●	
34		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora polita</i>	●		●		●		
35		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora strigosa</i>	●		●	●		●	
36		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora veneta</i>	●	●	●	●		●	
37		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora</i> spp.			●		●	●	
38		サミダレケイソウ属	<i>Anomoeoneis sphaerophora</i>					●		
39		サミダレケイソウ属	<i>Anomoeoneis vitrea</i>	●	●					
40		ホシガタケイソウ属	<i>Asterionella formosa</i>		●					
41		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira ambigua</i>	●	●		●	●		
42		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira granulata</i>	●	●					
43		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira pusilla</i>	●			●			
44		イカダケイソウ属	<i>Bacillaria paradoxa</i>	●	●	●	●		●	
45		スジフネケイソウ属	<i>Caloneis amphibaena</i> var. <i>subsalina</i>							
46		スジフネケイソウ属	<i>Caloneis bacillum</i>	●	●	●	●		●	
47	スジフネケイソウ属	<i>Caloneis molaris</i>				●				
48	オオハリケイソウ属	<i>Catacombas obtusa</i>	●	●	●	●	●			
49	コバンケイソウ属	<i>Cocconeis neothomensis</i> var. <i>marina</i>	●				●			
50	コバンケイソウ属	<i>Cocconeis pediculus</i>	●	●	●	●		●		
51	コバンケイソウ属	<i>Cocconeis placentula</i> var.	●	●	●	●	●	●		
52	コバンケイソウ属	<i>Cocconeis scutellum</i>	●		●			●		
53	タイコトゲカサケイソウ属	<i>Cyclotephanos dubius</i>		●						
54	ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella asterocostata</i>	●	●						
55	ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella meneghiniana</i>	●	●	●	●				
56	ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella stelligera</i>		●		●				
57	ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella striata</i>	●		●		●			
58	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella distalebiseriata</i>	●			●		●		
59	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella lacustris</i>	●	●	●	●				
60	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella leptoceros</i>	●	●	●	●	●			
61	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella minuta</i>	●	●	●	●				
62	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella prostrata</i>	●	●		●				
63	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella sinuata</i>	●	●	●	●	●	●		
64	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella tumida</i>	●	●	●	●				
65	クチビルケイソウ属	<i>Cymbella turgidula</i>	●	●	●	●				
66	ハナラビケイソウ属	<i>Denticula</i> sp.	●							
67	イタケイソウ属	<i>Diatoma vulgare</i>	●	●	●	●		●		
68	ナカケイソウ属	<i>Diploneis oblongella</i>			●	●		●		
69	ナカケイソウ属	<i>Diploneis ovalis</i>			●	●				
70	ナカケイソウ属	<i>Diploneis subovalis</i>			●					
71	エントモネイス属	<i>Entomoneis japonica</i>					●	●		
72	エントモネイス属	<i>Entomoneis</i> sp.					●	●		

表 11 (2) 確認された付着藻類(水系別)

●は定量調査、○は大型藻類調査(目視のみ)

No.	綱名	和名	学名	調査水系					
				鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
73	珪藻綱	クシケイソウ属	<i>Eumotia formica</i>	●	●	●	●		
74		クシケイソウ属	<i>Eumotia minor</i>	●			●		
75		クシケイソウ属	<i>Eumotia</i> sp.	●	●		●		
76		オビケイソウ属	<i>Fragilaria capitellata</i>	●					
77		オビケイソウ属	<i>Fragilaria capucina</i> var. <i>gracilis</i>		●		●		
78		オビケイソウ属	<i>Fragilaria capucina</i> var. <i>vaucheriae</i>	●	●	●	●		●
79		オビケイソウ属	<i>Fragilaria construens</i>				●		●
80		オビケイソウ属	<i>Fragilaria construens</i> f. <i>venter</i>	●	●	●	●	●	●
81		オビケイソウ属	<i>Fragilaria crotonensis</i>		●		●		
82		オビケイソウ属	<i>Fragilaria elliptica</i>	●			●		
83		オビケイソウ属	<i>Fragilaria fasciculata</i>	●		●	●	●	●
84		オビケイソウ属	<i>Fragilaria</i> sp.			●		●	
85		ヒシガタケイソウ属	<i>Frustulia vulgaris</i>	●	●	●	●		
86		ヒシガタケイソウ属	<i>Frustulia</i> sp.						●
87		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema acuminatum</i>		●				
88		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema affine</i>		●	●	●		
89		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema angustatum</i>	●				●	
90		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema angustum</i>	●	●	●	●	●	
91		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema clavatum</i>			●	●		●
92		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema clevei</i>	●		●	●		●
93		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema gracile</i>		●				
94		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema minutum</i>	●		●	●		
95		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema parvulum</i>	●	●	●	●	●	●
96		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>	●		●	●		
97		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema pseudosphaerophorum</i>	●	●	●	●		
98		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema rhombicum</i>	●			●		
99		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema truncatum</i>	●	●	●	●		
100	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema vibrio</i>		●					
101	クサビケイソウ属	<i>Gomphonema</i> sp.				●			
102	ウミクサビケイソウ属	<i>Gomphonemopsis littoralis</i>			●		●	●	
103	ゴンフォスフェニア属	<i>Gomphosphenia biwaensis</i>			●	●			
104	エスジケイソウ属	<i>Gyrosigma acuminatum</i>	●						
105	エスジケイソウ属	<i>Gyrosigma nodiferum</i>	●	●		●			
106	ユミケイソウ属	<i>Hantzschia amphioxys</i>			●				
107	ウマノハケイソウ属	<i>Hippodonta linearis</i>	●		●				
108	サンカウガサネケイソウ属	<i>Hydrosera triquetra</i>	●	●	●	●			
109	チャツツケイソウ属	<i>Melosira montiformis</i>			●		●	●	
110	チャツツケイソウ属	<i>Melosira nummuloides</i>	●		●	●	●	●	
111	チャツツケイソウ属	<i>Melosira undulata</i>	●					●	
112	チャツツケイソウ属	<i>Melosira varians</i>	●	●	●	●			
113	フネケイソウ属	<i>Navicula accomoda</i>	●						
114	フネケイソウ属	<i>Navicula arenaria</i>			●			●	
115	フネケイソウ属	<i>Navicula atomus</i>	●			●			
116	フネケイソウ属	<i>Navicula capitatoradiata</i>		●					
117	フネケイソウ属	<i>Navicula cari</i>				●	●		
118	フネケイソウ属	<i>Navicula cincta</i>	●		●	●		●	
119	フネケイソウ属	<i>Navicula confervacea</i>	●	●	●	●	●	●	
120	フネケイソウ属	<i>Navicula contenta</i>		●	●			●	
121	フネケイソウ属	<i>Navicula cryptocephala</i>	●	●	●	●	●	●	
122	フネケイソウ属	<i>Navicula cryptotenella</i>	●	●	●	●	●		
123	フネケイソウ属	<i>Navicula cuspidata</i>	●						
124	フネケイソウ属	<i>Navicula decussis</i>	●		●	●			
125	フネケイソウ属	<i>Navicula elginensis</i>			●	●			
126	フネケイソウ属	<i>Navicula goeppertiana</i>	●	●	●	●		●	
127	フネケイソウ属	<i>Navicula gregaria</i>	●	●	●	●	●	●	
128	フネケイソウ属	<i>Navicula inflexa</i>					●	●	
129	フネケイソウ属	<i>Navicula margalithii</i>	●	●	●	●	●	●	
130	フネケイソウ属	<i>Navicula minima</i>	●	●	●	●	●	●	
131	フネケイソウ属	<i>Navicula monoculata</i> var. <i>omissa</i>			●		●		
132	フネケイソウ属	<i>Navicula mutica</i> var. <i>ventricosa</i>	●		●	●			
133	フネケイソウ属	<i>Navicula nipponica</i>	●	●		●			
134	フネケイソウ属	<i>Navicula perminuta</i>			●	●	●	●	
135	フネケイソウ属	<i>Navicula platyventris</i>			●			●	
136	フネケイソウ属	<i>Navicula pseudoacceptata</i>	●	●	●	●			
137	フネケイソウ属	<i>Navicula pupula</i>	●	●	●	●	●		
138	フネケイソウ属	<i>Navicula recens</i>	●				●	●	
139	フネケイソウ属	<i>Navicula subhamulata</i>			●	●			
140	フネケイソウ属	<i>Navicula subminuscula</i>	●		●	●			
141	フネケイソウ属	<i>Navicula symmetrica</i>	●	●	●	●		●	
142	フネケイソウ属	<i>Navicula tenelloides</i>	●	●	●	●	●	●	
143	フネケイソウ属	<i>Navicula tenera</i>	●		●		●	●	
144	フネケイソウ属	<i>Navicula trivialis</i>	●	●	●	●			
145	フネケイソウ属	<i>Navicula veneta</i>	●	●	●	●		●	
146	フネケイソウ属	<i>Navicula ventralis</i> var. <i>japonica</i>	●	●	●	●		●	
147	フネケイソウ属	<i>Navicula viridula</i> var. <i>rostellata</i>	●	●	●	●	●		
148	フネケイソウ属	<i>Navicula viridula</i> var. <i>rostrata</i>	●	●	●	●			
149	フネケイソウ属	<i>Navicula yuraensis</i>	●	●	●	●	●	●	
150	フネケイソウ属	<i>Navicula</i> spp.	●			●	●		
151	ハスフネケイソウ属	<i>Neidium ampliatum</i>		●					
152	ハリケイソウ属	<i>Nitzschia amphibia</i>	●	●	●	●	●	●	
153	ハリケイソウ属	<i>Nitzschia capitellata</i>	●				●		
154	ハリケイソウ属	<i>Nitzschia clausii</i>	●		●	●	●	●	
155	ハリケイソウ属	<i>Nitzschia coarctata</i>						●	

表 11 (3) 確認された付着藻類(水系別)

●は定量調査、○は大型藻類調査(目視のみ)

No.	網名	和名	学名	調査水系						
				鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	
156	珪藻綱	ハリケインソウ属	<i>Nitzschia constricta</i>	●		●	●		●	
157		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia dissipata</i>	●	●	●	●		●	
158		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia filiformis</i>	●		●	●			
159		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia fonticola</i>	●	●	●	●			
160		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia frustulum</i>	●		●	●	●	●	
161		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia inconspicua</i>	●		●	●	●	●	
162		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia levidensis</i> var. <i>salinarum</i>	●						
163		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia linearis</i>	●	●	●	●	●	●	
164		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia nana</i>			●	●			
165		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia palea</i>	●	●	●	●	●	●	
166		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia paleacea</i>			●	●			
167		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia recta</i>		●	●		●	●	
168		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia scalpelliformis</i>			●		●		
169		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia sigma</i>			●		●	●	
170		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia sigmoidea</i>		●					
171		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia sinuata</i> var. <i>delognei</i>	●	●	●	●	●	●	
172		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia vermicularis</i>	●	●		●			
173		ハリケインソウ属	<i>Nitzschia</i> spp.			●	●	●		
174		ハネケイソウ属	<i>Pinnularia borealis</i>	●	●					
175		ハネケイソウ属	<i>Pinnularia braunii</i>				●			
176		ハネケイソウ属	<i>Pinnularia gibba</i>	●	●	●	●			
177	ハネケイソウ属	<i>Pinnularia subcapitata</i>	●				●	●		
178	ハネケイソウ属	<i>Pinnularia viridis</i>	●	●		●				
179	メガネケイソウ属	<i>Pleurosigma</i> spp.			●	●	●	●		
180	ジグザグオオメダマケイソウ属	<i>Pleurosira laevis</i>			●	●		●		
181	オビジュウジモドキケイソウ属	<i>Pseudostauriosira brevistriata</i>	●	●		●				
182	マガリクサビケイソウ属	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>	●	●	●	●	●	●		
183	エリツキケイソウ属	<i>Sellaphora tanghongquii</i>	●	●		●				
184	ホネツギケイソウ属	<i>Skeletonema potamos</i>	●	●						
185	ジュウジケイソウ属	<i>Stauroneis kriegeri</i>			●			●		
186	ジュウジケイソウ属	<i>Stauroneis smithii</i>			●					
187	オニジュウジケイソウ属	<i>Staurisirella martyi</i>	●					●		
188	トゲカサケイソウ属	<i>Stephanodiscus hantzschii</i>		●						
189	トゲカサケイソウ属	<i>Stephanodiscus niagarae</i>		●						
190	オオコバンケイソウ属	<i>Surirella angusta</i>	●	●	●	●				
191	オオコバンケイソウ属	<i>Surirella linearis</i>	●			●				
192	オオコバンケイソウ属	<i>Surirella</i> spp.			●	●				
193	ナガケイソウ属	<i>Synedra acus</i>		●		●				
194	ナガケイソウ属	<i>Synedra pulchella</i>				●				
195	ナガケイソウ属	<i>Synedra ulna</i>	●	●	●	●				
196	オンシャブリケイソウ属	<i>Terpsinoe muninensis</i>	●							
197	ニセコアマミケイソウ属	<i>Thalassiosira lacustris</i>		●	●	●	●	●		
198	ニセコアマミケイソウ属	<i>Thalassiosira weissflogii</i>	●		●	●				
199	ウルナリア属	<i>Ulnaria japonica</i>		●						
200	ウルナリア属	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>	●	●	●	●	●			
201	紅藻綱	オオイシソウ	<i>Compsopogon coeruleus</i>	●		○	●			
202		チャイロカワモズク属	<i>Sheathia</i> sp.	●						
203		カワモズク科の孢子体期	Chantresia stage of Batrachospermaceae sp.	●	●	●	●	●		
204		タンスイベニマダラ	<i>Hildenbrandia rivularis</i>			○	○	○		
205		ホソアヤギヌ	<i>Caloglossa ogasawaraensis</i>					○		
206	褐藻綱	イズミイシノカワ	<i>Heribaudiella fluviatilis</i>					●		
207	緑藻綱	クラミドモナス属	<i>Chlamydomonas</i> sp.	●			●			
208		シオグサ属	<i>Cladophora</i> sp.	●	●	●	●	●		
209		トゲナシツルギ属	<i>Cloniophora</i> sp.	●		●	●			
210		ミカツキモ属	<i>Closterium</i> sp.	●			●			
211		ツツミモ属	<i>Cosmarium</i> sp.	●						
212		モノラフィデウム属	<i>Monoraphidium fontinale</i>	●		●	●			
213		サヤミドロ属	<i>Oedogonium</i> sp.	●	●	●	●			
214		クンショウモ属	<i>Pediastrum</i> sp.	●		●	●			
215		ネダシグサ属	<i>Rhizoclonium</i> sp.	●	●	●	●	●		
216		イカダモ属	<i>Scenedesmus</i> spp.	●	●	●	●			
217		アオミドロ属	<i>Spirogyra</i> sp.	●			●			
218		キヌミドロ属	<i>Stigeoclonium</i> sp.	●	●		●			
219		ヨツメモ属	<i>Tetraspora</i> sp.	●			●			
220		スジアオハリ	<i>Ulva prolifera</i>	●		●	●	●		
221		アワビモ属	<i>Ulvella</i> sp.		●					
種類数(定量調査●+目視確認のみ○)				147	104	141	147	73	90	
種類数(定量調査●)				147	104	139	146	73	88	
調査地点数				12	4	7	13	2	3	

① レッドリスト等掲載種

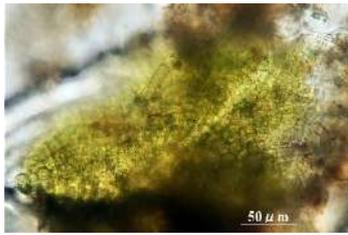
レッドリスト等掲載種は5種で、褐藻類1種、紅藻類4種でした。これらは主に大型藻類調査（目視）で確認される種です。

表 12 レッドリスト等掲載種

●は定量調査、○は大型藻類調査（目視のみ）

環境省 RL	神奈川県 RDB	分類 種名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類	褐藻綱 イズミイシノカワ						●
絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	紅藻綱 オオイシソウ	●		○	●		
準絶滅危惧	準絶滅危惧	紅藻綱 チャイロカワモズク 属の一種	●					
準絶滅危惧	準絶滅危惧	紅藻綱 タンスイベニマダラ			○	○		○
準絶滅危惧	-	紅藻綱 ホソアヤギヌ						○
種数			2	0	2	2	0	3

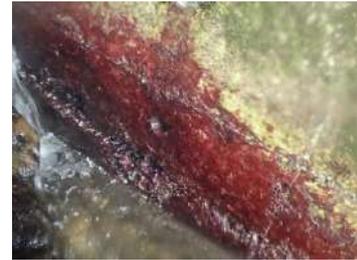
注) レッドリスト等掲載種のカテゴリーは表 24 参照のこと



イズミイシノカワ(絶滅危惧Ⅰ類)  
顕微鏡写真



オオイシソウ(絶滅危惧Ⅱ類)  
毛状の暗い緑



タンスイベニマダラ(準絶滅危惧)  
中央の赤色



チャイロカワモズク属の一種  
(準絶滅危惧)顕微鏡写真



ホソアヤギヌ(準絶滅危惧)

写真

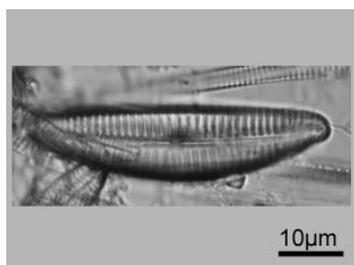
付着藻類のレッドリスト等掲載種

② 外来種

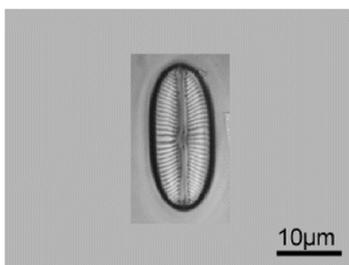
国外外来種は珪藻綱の3種でした。

表 13 確認された国外外来種

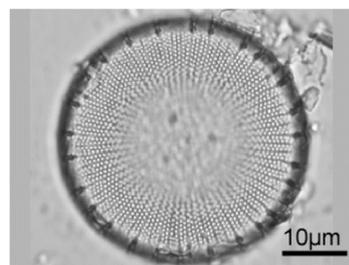
和名	学名	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川
クチビルケイソウ	<i>Cymbella distalebiseriata</i>	●			●		●
エリツキケイソウ	<i>Sellaphora tanghongquii</i>	●	●		●		
トゲカサケイソウ	<i>Stephanodiscus niagarae</i>		●				
種数		2	2	0	2	0	1



クチビルケイソウ  
*Cymbella distalebiseriata*



エリツキケイソウ  
*Sellaphora tanghongquii*



トゲカサケイソウ  
*Stephanodiscus niagarae*

写真 付着藻類の国外外来種

コラム4 相模湖から移入してくる珪藻類

神奈川県では、相模ダム下流にある沼本ダムで取水された水がポンプを使わない自然流下系で鶴ヶ峰配水池を経由して西谷浄水場に送水されています（下図）。帷子川へは鶴ヶ峰配水池からの排水が流入していることから、以前より帷子川には浄水場を経由して相模川水系の珪藻が出現することが指摘されていました（福嶋ほか、2000）※。最近でも西谷浄水場内では浮遊性珪藻類のホンガタケイソウ *Asterionella formosa* などが確認されています（横浜市水道局 令和4年度水質試験年報）。

今回、帷子川で確認された浮遊性のトゲカサケイソウも、相模湖から移入してきた可能性が考えられます。



横浜市水源系統図

## [水質評価]

調査で確認された生物種から、横浜市の生物指標を用いて水質評価を行いました。評価は41地点で行いました。「大変きれい」、「きれい」をあわせると、2022年度冬季は全地点の97%、2023年度夏季は90%という結果になりました。「やや汚れている」「汚れている」と判定された地点は、中：下流域～感潮域の地点でした。

表 14 水質評価をした地点数(2022年度冬季調査)

評価	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	地点数 (割合)
大変きれい	10	3	5	9	1	2	30(73%)
きれい	1	1	2	4	1	1	10(24%)
やや汚れている	1						1(2%)
汚れている							0(0%)
非常に汚れている							0(0%)
評価できない							0(0%)
調査地点数	12	4	7	13	2	3	41

表 15 水質評価をした地点数(2023年度夏季調査)

評価	鶴見川	帷子川	大岡川	境川	宮川	侍従川	地点数 (割合)
大変きれい	4	3	5	7	1	2	22(54%)
きれい	6	1	1	5	1	1	15(37%)
やや汚れている	2			1			3(7%)
汚れている			1				1(2%)
非常に汚れている							0(0%)
評価できない							0(0%)
調査地点数	12	4	7	13	2	3	41



図 2 横浜市内河川の水生生物による水質評価結果(2022 年度冬季)



図 3 横浜市内河川の水生生物による水質評価結果(2023 年度夏季)

### 3. 各水系における調査結果概要

#### [鶴見川水系]

青葉区、緑区、都筑区、港北区、鶴見区の12地点で、魚類41種、底生動物101種、水草7種、抽水植物12種、付着藻類147種の合計308種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は20種が確認されました。このうち魚類は「国・県：絶滅危惧ⅠB類」のホトケドジョウ、など12種、底生動物は「国：絶滅危惧Ⅱ類」のマルタニシなど6種、水草は0種、抽水植物は0種、付着藻類は「国：絶滅危惧Ⅱ類」のオオイシソウなど2種でした。

外来種は39種が確認されました。魚類は「国内外来種」で「その他の総合対策外来種」のギギ、「特定外来生物」のブルーギルなど18種、底生動物は「条件付特定外来生物・緊急対策外来種」のアメリカザリガニなど11種、水草は「特定外来生物」のオオフサモや「重点対策外来種」のコウガイセキショウモなど4種、抽水植物は「特定外来生物」のオオカワヂシャなど4種、付着藻類はクチビルケイソウ *Cymbella distalebiseriata* など2種が確認されました。

2022年度冬の水質評価は、「大変きれい」が10地点、「きれい」が1地点、「やや汚れている」が1地点でした。2023年度夏の水質評価は、「大変きれい」が4地点、「きれい」が6地点、「やや汚れている」が2地点でした。



寺家川 山田谷戸



鶴見川 水車橋



鶴見川 鷹野大橋

#### [帷子川水系]

旭区と保土ケ谷区の4地点で、魚類28種、底生動物60種、水草3種、抽水植物6種、付着藻類104種の合計201種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は14種が確認されました。魚類は「県：準絶滅危惧」のヒガシマドジョウなど11種、底生動物は「県：要注意」のハグロトンボなど3種、水草は0種、抽水植物は0種、付着藻類は0種でした。

外来種は20種が確認されました。このうち魚類は「国内外来種」のホンモロコなど8種、底生動物は「条件付特定外来生物・緊急対策外来種」のアメリカザリガニなど6種、水草は「重点対策外来種」のオオカナダモなど2種、抽水植物は「特定外来生物」のオオカワヂシャなど2種、付着藻類はエリツキケイソウ *Sellaphora tanghongquii* など2種が確認されました。

2022年度冬、2023年度夏の水質評価は、「大変きれい」が3地点、「きれい」が1地点でした。



帷子川 大貫橋上流



帷子川 鶴舞橋



帷子川 横浜新道下

## [大岡川水系]

磯子区、港南区、南区の7地点で、魚類24種、底生動物118種、水草3種、抽水植物3種、付着藻類141種（大型藻類2種を含む）の合計289種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は17種が確認されました。このうち魚類は「県：絶滅危惧Ⅱ類」のマルタなど10種、底生動物は「県：準絶滅危惧」のコヤマトンボなど5種、水草は0種、抽水植物は0種、付着藻類は「国：絶滅危惧Ⅱ類」のオオイシソウなど2種でした。

外来種は21種が確認されました。このうち魚類は「国内外来種」のタカハヤなど6種、底生動物は「条件付特定外来生物・緊急対策外来種」のアメリカザリガニや「その他の総合対策外来種」のタイワンシジミなど13種、水草は「重点対策外来種」のコカナダモなど1種、抽水植物は「重点対策外来種」のウチワゼニクサ1種、付着藻類は0種でした。

2022年度冬の水質評価は、水質評価は「大変きれい」が5地点、「きれい」が2地点でした。2023年度夏の水質評価は、「大変きれい」が5地点、「きれい」が1地点「汚れている」が1地点でした。



大岡川 氷取沢



大岡川 曲田橋



大岡川 井土ヶ谷橋

## [境川水系]

瀬谷区、泉区、栄区、戸塚区及び藤沢市の13地点で、魚類39種、底生動物131種、水草1種、抽水植物16種、付着藻類147種（大型藻類1種を含む）の合計334種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は22種が確認されました。このうち魚類は「国：情報不足」のキタドジョウ関東集団など12種が確認されました。底生動物は「国：準絶滅危惧」のタイワンヒライソモドキなど6種、水草は0種、抽水植物は「国・県：絶滅危惧Ⅱ類」のミズキンバイなど2種、付着藻類は「国：絶滅危惧Ⅱ類」のオオイシソウなど2種が確認されました。

外来種は33種が確認されました。このうち魚類は「特定外来生物」のカダヤシなど16種、底生動物は「条件付特定外来生物・緊急対策外来種」のアメリカザリガニなど9種、水草は「重点対策外来種」のオランダガラシ1種、抽水植物は「特定外来生物」のオオカワヂシャなど5種、付着藻類はクチビルケイソウ *Cymbella distalebiseriata* など2種が確認されました。

2022年度冬の水質評価は、「大変きれい」が9地点、「きれい」が4地点でした。2023年度夏の水質評価は、「大変きれい」が7地点、「きれい」が5地点、「やや汚れている」が1地点でした。



稲荷川 杉之木橋上流



和泉川 地蔵原の水辺



柏尾川 鷹匠橋

### [宮川水系]

金沢区を流れる宮川水系の2地点で、魚類12種、底生動物58種、水草0種、抽水植物3種、付着藻類73種の合計146種が確認されました。

レッドリスト等掲載種は7種が確認されました。このうち魚類は「県：準絶滅危惧」のスマウキゴリなど3種、底生動物は「国：準絶滅危惧」のウミニナなど4種、水草は0種、抽水植物は0種、付着藻類は0種でした。

外来種は22種が確認されました。魚類は「特定外来生物」のカダヤシなど2種、底生動物は「条件付特定外来生物・緊急対策外来種」のアメリカザリガニや、「その他の総合対策外来種」のタイワンシジミなど9種、「その他の総合対策外来種」のコウロエンカワヒバリガイなど10種、水草は0種、抽水植物は「重点対策外来種」のキショウブ1種、付着藻類は0種でした。

2022年度冬、2023年度夏の水質評価は、「大変きれい」が1地点、「きれい」が1地点でした。



宮川 清水橋上流



宮川 桜橋

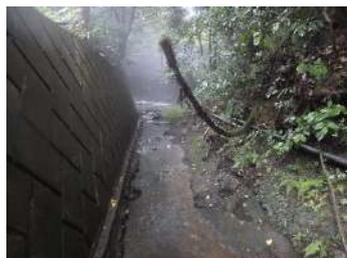
### [侍従川水系]

金沢区を流れる侍従川水系の3地点で、魚類12種、底生動物73種、水草0種、抽水植物1種、付着藻類90種（大型藻類2種を含む）の合計176種が確認されました。

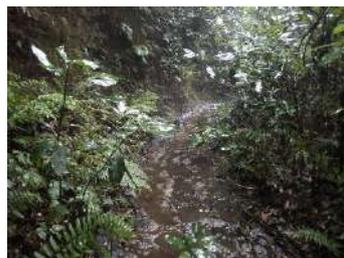
レッドリスト等掲載種は9種が確認されました。このうち魚類は「県：絶滅危惧ⅠA類」のニホンウナギなど3種、底生動物は「県：要注意」のミルンヤンマなど3種、水草は0種、抽水植物は0種、付着藻類は「国：絶滅危惧Ⅰ類」のイズミイシノカワなど3種でした。

外来種は6種が確認されました。魚類の外来種は確認されませんでした。底生動物は「その他の総合対策外来種」で汽水性のコウロエンカワヒバリガイやアメリカフジツボなど計5種でした。水草や抽水植物の外来種は確認されませんでした。付着藻類の外来種はクチビルケイソウ *Cymbella distalebiseriata* が確認されました。

2022年度冬、2023年度夏の水質評価は、「大変きれい」が2地点、「きれい」が1地点でした。



侍従川 金の橋上流



侍従川 金の橋上流 (左)



侍従川 六浦二号橋

#### 4. 各区における結果

横浜市 18 区のうち、調査を行った 15 の区において、確認された水生生物と水質をまとめました。区の並びは五十音順とし、2つの区にまたがる調査地点は両方の区のデータとしました。そのため、鶴見川千代橋と落合橋は都筑区と緑区に、第三京浜下は港北区と都筑区に、境川水系柏尾川の栄第二水再生センター下流は栄区と戸塚区に含まれます。

##### 4.1 区別集計結果

各調査項目について、表 14 には各区で確認された調査項目別の種類数をまとめ、表 15～19 にその詳細を示しました。

表 16 区別の確認された種類数

区	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区		
魚類	16	17	14	7	16	15	21	20	6	24	13	25	17	19	10		
底生動物	55	49	65	88	91	52	43	91	34	66	23	82	36	65	14		
水草等	水草等1)		0	3	0	0	3	3	1	0	5	0	1	1	6	0	
植物	その他抽水植物2)		7	3	5	1	3	2	5	11	1	6	3	14	5	6	0
付着藻類	定量調査		81	101	91	70	113	77	95	90	46	92	51	100	51	90	57
	大型藻類（目視のみ）		0	0	0	2	2	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0
種類数合計	159	175	175	171	224	146	170	215	87	193	90	223	105	186	81		
調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1		
調査地点番号	T1 T6 T7	K1 K2 K3	S2 S4 S5	O1-1 O1 O2	M2 M3 J1-1 J1 J2	O3 O4-1 O5	T4-1 T4 T11	S9 S11 S11-1 S10	S1	T2 T3 T4-1 T5-2	T5-3	S3-4 S3-3 S7 S8 S9	K4-3	T2 T3 T9 T8	O4		

- 1) オランダガラシ等の一部の抽水植物を含めて水草調査としている
- 2) 水際に生育していたその他の抽水植物等

[魚類]

表 17 (1) 確認された魚類

\*目視

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
1	ニホンウナギ					●										
2	コイ (飼育型)	●		●				●			●				●	
-	コイ (型不明) *	●		●			●	●	●		●	●	●	●	●	
3	コイ (改良品種型) *	●		●					●			●	●	●	●	
4	キンギョ									●						
5	ギンブナ		●									●			●	
-	フナ属										●				●	
6	オイカワ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
7	カワムツ	●	●	●	●				●		●	●			●	
8	アブラハヤ	●	●	●	●	●	●		●		●	●			●	
9	タカハヤ				●											
-	アブラハヤ属				●											
10	マルタ							●			●			●		●
11	ウグイ		●													
12	モツゴ	●	●	●					●	●	●		●		●	
13	タモロコ	●		●					●	●	●		●		●	
14	ホンモロコ		●													
15	カマツカ類	●		●				●			●	●			●	
16	イトモロコ	●						●			●				●	
17	ドジョウ (中国大陸系統)	●	●	●			●	●					●		●	
18	キタドジョウ関東集団								●							
-	ドジョウ類	●													●	
19	カラドジョウ	●														
20	ヒガシシマドジョウ		●		●		●									
21	ホトケドジョウ		●		●										●	
22	ギギ										●				●	
23	ギバチ		●													
24	ナマズ*												●		●	
25	マダラロリカリア属									●						
26	アユ		●	●			●		●		●	●	●			
27	ボラ					●	●	●	●		●	●	●	●		●
28	カダヤシ			●		●		●	●		●	●	●		●	
29	グッピー								●			●				
30	ミナミメダカ	●	●	●		●	●	●	●		●		●	●	●	●
31	メダカ (飼育品種)	●														
32	サヨリ															
33	スズキ							●			●			●		●
34	ブルーギル										●		●	●	●	
35	オオクチバス	●									●				●	
36	イケカツオ															
37	ヒイラギ															
38	クロダイ							●								
39	キチヌ											●				
40	シマイサキ					●										
41	チチブモドキ															
42	ミミズハゼ															
43	マハゼ					●	●	●	●			●		●		●
44	アシシロハゼ					●		●			●					●
45	ボウズハゼ			●					●			●				
46	アベハゼ					●		●				●				●
47	シモフリシマハゼ							●				●				
48	ヌマチチブ		●				●	●	●		●	●	●	●		
49	チチブ					●	●							●		●
-	チチブ属											●		●		●
50	ヒナハゼ					●		●				●				

表 17 (2) 確認された魚類

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
51	カワヨシノボリ	●								●			●		●	
52	シマヨシノボリ		●	●	●	●	●	●	●		●			●		
53	ゴクラクハゼ						●	●	●		●	●	●			
54	クロダハゼ	●	●										●			
55	トウヨシノボリ類								●		●		●			
56	ウロハゼ					●						●				●
57	ツマグロスジハゼ					●										
58	スミウキゴリ		●			●	●		●		●		●	●		
59	ウキゴリ						●	●			●			●		
60	ピリンゴ					●		●				●		●		●
61	カムルチー												●			
種数		16	17	14	7	16	15	21	20	6	24	13	25	17	19	10
調査地点数		3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

### コラム5 コウガイセキシウモとセキシウモ

2015年度に鶴見川水系で見つかったセキシウモは、実はコウガイモと外来種のセイヨウセキシウモの交雑種であるコウガイセキシウモとわかりました。現在は鶴見川水系で分布が広がり、中・下流域を中心に繁茂がみられます。セキシウモは冬に落葉し、コウガイセキシウモは常緑です。

在来種のセキシウモの葉は薄緑色で先端は尖り、幅は3~9mm程度で、茎は伸長しません。コウガイセキシウモの葉は緑色で先端は丸みを帯び、幅は3~13mm程度で、茎は伸長するとされています。鶴見川亀の甲橋のコウガイセキシウモの葉は、小さいものは幅5mmでした。



セキシウモ (京都府産)



コウガイセキシウモ (鶴見川 亀の甲橋)



[底生動物]

表 18(1) 確認された底生動物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
1	タンスイカイメン類							●	●							
2	ナミウズムシ				●	●			●							
3	アメリカツノウズムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
4	マミズヒモムシ科							●	●		●		●		●	
5	紐形動物門					●										
6	タテジマイソギンチャク															●
7	イシマキガイ					●										
8	マルタニシ	●														
9	ヒメタニシ	●														
10	ウミニナ					●										
11	カワニナ	●	●	●	●	●	●		●				●	●	●	
12	アラムシロガイ					●										
13	コモチカワツボ				●	●	●									
14	ウスイロオカチグサ						●		●							
15	カワコザラガイ属				●				●							●
16	ヒメモノアラガイ	●			●		●	●		●	●		●		●	
17	モノアラガイ										●				●	
18	モノアラガイ科			●	●		●			●			●		●	
19	サカマキガイ	●	●	●	●	●	●		●		●		●		●	
20	ヒラマキミズマイマイ			●			●									
21	ヒロマキミズマイマイ			●				●	●	●	●		●		●	
22	ホトトギスガイ					●										
23	コウロエンカワヒバリガイ					●										●
24	タイワンシジミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	
25	マメシジミ属		●	●	●				●				●	●	●	
26	トブシジミ属		●													
27	イガイダマシ					●						●				●
28	マガキ					●										●
29	ヤマトカワゴカイ					●						●				●
30	Polydora属					●										●
31	Capitella属					●						●				●
32	カニヤドリカンザシゴカイ															●
33	ヒメミミズ科		●	●	●	●	●		●		●		●			
34	エラミミズ	●												●		
35	ミズミミズ亜科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
36	イトミミズ亜科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
37	アメリカヤドリミミズ															●
38	ヌマビル	●			●			●	●		●		●		●	
39	シマイシビル	●		●			●	●		●		●	●	●	●	
40	ピロウドイシビル	●					●	●	●	●		●	●	●	●	
41	タテジマフジツボ					●										●
42	アメリカフジツボ					●										●
43	ヨーロッパフジツボ					●										
44	シロスジフジツボ					●										●
45	クスイタナイス					●										
46	イソコツブムシ属					●										
47	ミズムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
48	ドロクダムシ属					●						●				●
49	ニホンドロソコエビ					●										
50	フロリダマミズヨコエビ		●	●			●	●	●	●	●		●		●	
51	アゴトゲヨコエビ												●			
52	メリタヨコエビ属					●										
53	ミゾレスマエビ						●	●	●		●	●	●	●		
54	カワリヌマエビ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
55	ヌマエビ					●										
56	ヌカエビ				●	●										
57	ミナミテナガエビ			●		●			●				●			
58	ヒラテテナガエビ			●			●		●		●		●	●		
59	テナガエビ						●			●		●	●			
60	ユビナガスジエビ					●						●				●

表 18 (2) 確認された底生動物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
61	スジエビ	●	●	●			●		●		●		●			
62	スジエビモドキ					●										
63	シラタエビ					●						●				●
64	アメリカザリガニ	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●		●	
65	チチュウカイミドリガニ					●										
66	タイワンガザミ															
67	アカテガニ											●				
68	クロベンケイガニ					●						●				
69	モクズガニ			●		●	●	●		●	●	●				
70	タイワンヒライソモドキ					●										
71	ケフサイソガニ					●						●				
72	チゴガニ					●										
73	サワガニ			●	●				●				●			
74	マエグロヒメフタオカゲロウ				●				●				●			
75	ミツオミジカオフタバコカゲロウ			●						●						
76	ミジカオフタバコカゲロウ												●			
77	ヨシノコカゲロウ				●	●			●							
78	フタバコカゲロウ			●												
79	サホコカゲロウ	●		●			●	●		●		●		●		●
80	フタモンコカゲロウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
81	シロハラコカゲロウ		●	●	●	●		●		●		●		●		●
82	フタバカゲロウ属	●		●						●		●		●		●
83	ウスイロフトヒゲコカゲロウ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	
84	Dコカゲロウ									●						
85	ヒメウスバコカゲロウ属				●		●									
86	ウデマガリコカゲロウ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●	
87	シロタニガワカゲロウ			●	●				●				●			
88	フタスジモンカゲロウ				●	●			●							
89	オオクママダラカゲロウ				●				●							
90	エラブタマダラカゲロウ		●	●			●	●	●	●	●				●	
91	ヒメシロカゲロウ属			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
92	アジアイトトンボ						●	●			●		●		●	
93	ハグロトンボ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
94	アサヒナカワトンボ				●	●			●							
95	ヤマササエ	●			●	●			●				●		●	
96	ダビドササエ			●	●	●			●	●						
97	オナガササエ			●	●		●			●			●	●		
98	コオニヤンマ	●		●	●	●			●		●		●	●	●	
99	オジロササエ	●					●	●	●							
100	クロスジギンヤンマ								●							
101	ギンヤンマ		●				●			●						
102	コシボソヤンマ		●	●		●	●		●				●		●	
103	ミルンヤンマ				●	●			●							
104	オニヤンマ		●		●	●							●	●		
105	コヤマトンボ		●	●	●		●		●		●		●			
106	シオカラトンボ	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●		●	
107	コシアキトンボ												●			
108	フサオナシカワゲラ属				●	●			●							
109	オナシカワゲラ属		●		●	●			●				●			
110	ホソカワゲラ科				●	●										
111	ヤマトフタツメカワゲラ				●	●			●							
112	アメンボ	●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●
113	シマアメンボ	●		●	●	●			●				●		●	
114	クロチビズムシ	●						●			●	●	●		●	
115	コムズムシ属										●					
116	センブリ属				●	●			●							
117	ヤマトクロスジヘビトンボ				●	●			●				●			
118	ヘビトンボ				●				●							
119	コガタシマトビケラ	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●
120	ナミコガタシマトビケラ				●	●			●							
121	ニセミヤマシマトビケラ属				●											
122	ウルマーシマトビケラ		●	●	●	●	●						●		●	

表 18 (3) 確認された底生動物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
123	クダトビケラ属	●		●					●		●		●		●	
124	ムネカクトビケラ								●				●			
125	キヨスミナガレトビケラ								●							
126	ヒメトビケラ属	●	●	●	●	●	●	●			●				●	
127	カクツツトビケラ属		●	●	●	●		●					●			
128	コエグリトビケラ属			●	●	●		●					●			
129	コバントビケラ							●								
130	ニンギョウトビケラ	●		●	●									●	●	
131	アオヒゲナガトビケラ属		●	●	●		●		●				●	●	●	
132	セグロトビケラ	●														
133	トウヨウグマガトビケラ				●	●		●								
134	モンキマメゲンゴロウ				●	●										
135	ヒラタガムシ属 (幼虫)										●					
136	ゲンジボタル (幼虫)	●			●	●			●							
137	チビヒゲナガハナノミ属	●		●												
138	クシヒゲマルヒラタドROMシ	●			●				●							
139	ドROMシ科 (幼虫)					●										
140	ヒメツヤドROMシ (幼虫)				●	●			●				●			
141	ヒメガガンボ属	●	●	●	●	●	●	●			●		●		●	
142	Dicranota属				●			●								
143	エリオプテラ属						●									
144	ヒゲナガガガンボ属				●			●								
145	Limnophila属							●								
146	Yamatotipula亜属	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●		
147	Nippotipula亜属				●	●		●		●			●		●	
148	チョウバエ属		●							●						●
149	ハネヒラチョウバエ属				●	●										
150	ホソカ属				●	●		●								
151	ツノマユブユ属				●	●		●					●			
152	アシマダラブユ属	●	●	●	●			●	●		●		●		●	
153	ボカシヌマユスリカ属	●			●											
154	ヤマトヒメユスリカ族	●	●	●	●	●	●	●		●			●	●	●	
155	サワユスリカ属		●										●			
156	ケバカエリユスリカ属		●	●	●	●	●	●					●	●		
157	ハダカエリユスリカ属	●	●	●				●	●	●			●	●	●	
158	コナユスリカ属			●	●	●		●		●						
159	ツヤユスリカ属	●		●	●		●	●	●		●		●	●	●	
160	テンマクエリユスリカ属			●	●					●			●	●		
161	キリカキケバネエリユスリカ属				●			●					●			
162	エリユスリカ属	●	●	●			●	●	●	●			●	●	●	
163	ニセトゲアシエリユスリカ属				●											
164	ニセナガレツヤユスリカ属	●	●	●		●	●	●		●			●		●	
165	ニセケバネエリユスリカ属		●		●	●		●	●				●			
166	ナガレツヤユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	
167	ヌカユスリカ属	●			●								●			
168	トクナガエリユスリカ属		●		●		●	●		●	●			●	●	
169	セスジユスリカ							●		●			●		●	
170	ユスリカ属	●	●		●	●	●	●		●			●		●	
171	カマガタユスリカ属	●	●							●	●			●	●	
172	ホソミユスリカ属						●			●	●					
173	セボリユスリカ属	●					●			●	●				●	
174	ナガスネユスリカ属				●	●										
175	ツヤムネユスリカ属					●	●		●		●					
176	カワリユスリカ属	●		●	●		●		●				●		●	
177	ハモンユスリカ属	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
178	ナガレユスリカ属	●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●	
179	ヒゲユスリカ属	●		●		●	●	●		●			●			
180	コモンナガレアブ				●			●							●	
181	サツマモンナガレアブ					●		●								
182	アシナガバエ科									●					●	
	種数	55	49	65	88	91	52	43	91	34	66	23	82	36	65	14
	調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

[水草]

表 19 確認された水草(※沈水植物及びオランダガラシ)

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
1	オオカナダモ		●					●			●				●	
2	コカナダモ						●									
3	コウガイセキショウモ							●			●				●	
4	エビモ		●				●									
5	アイノコイトモ						●	●			●					
6	ヤナギモ														●	
7	オオフサモ														●	
8	ホザキノフサモ										●				●	
9	オランダガラシ		●						●		●		●	●	●	
種数		0	3	0	0	0	3	3	1	0	5	0	1	1	6	0
調査地点数		3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

[抽水植物]

表 20 確認された抽水植物

No.	種名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
1	セキショウ	●			●	●		●	●		●		●		●	
2	アオウキクサ			●										●		
3	キショウブ					●							●		●	
4	ヒメガマ	●	●					●	●		●	●	●	●	●	
5	コゴメイ							●	●		●				●	
6	カンガレイ											●				
7	サンカクイ	●						●					●			
8	ケイヌビエ								●				●			
9	キシユウスズメノヒエ			●					●				●			
10	クサヨシ	●	●				●								●	
11	ヨシ		●	●					●		●	●	●	●		
12	ツルヨシ	●		●		●			●	●	●		●		●	
13	マコモ			●									●			
14	タコノアシ								●				●			
15	ミズキンバイ								●				●			
16	オオカワヂシャ	●							●				●	●		
17	ウチワゼニクサ						●				●		●	●		
18	セリ	●						●	●				●			
種数		7	3	5	1	3	2	5	11	1	6	3	14	5	6	0
調査地点数		3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

[付着藻類]

表 21 (1) 確認された付着藻類

※●は定量調査、○は目視調査

No.	綱名	和名	学名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
1	藍藻綱	アフアノカブサ属	<i>Aphanocapsa</i> sp.				●							●				●
2		カロスリックス属	<i>Calothrix</i> sp.	●					●									
3		コンボウランソウ属	<i>Chamaesiphon</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
4		クロオコックス属	<i>Chroococcus</i> sp.															●
5		エントフィザリス属	<i>Entophysalis</i> sp.		●													
6		ピロウドラソウ属	<i>Homoeothrix janthina</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7		リングピア属	<i>Lyngbya</i> sp.					●		●				●	●			●
8		ユレモ属	<i>Oscillatoria</i> sp.						●						●			●
9		サヤユレモ属	<i>Phormidium</i> sp.	●	●	●	●	●		●	●			●	●			
10		クセノコックス属	<i>Xenococcus</i> sp.			●	●	●	●	●	●	●				●	●	●
11	珪藻綱	マギリケイソウ属	<i>Achnanthes amoena</i>					●		●				●				●
12		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes brevipes</i> var. <i>intermedia</i>					●		●				●	●			●
13		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes clevei</i>		●			●	●									
14		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes conspicua</i>				●			●								
15		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes delicatula</i>			●		●		●				●	●			●
16		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes exigua</i>	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	
17		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes inflata</i>					●	●					●				●
18		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes japonica</i>	●	●	●	●			●	●	●		●	●	●		●
19		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes kuwaitensis</i>					●										●
20		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes lanceolata</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
21		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes lapidosa</i>					●										
22		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes laterostrata</i>						●									
23		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes minutissima</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
24		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes rupestoides</i>					●		●								
25		マギリケイソウ属	<i>Achnanthes subhudsonis</i>	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
26		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora acutiuscula</i>					●						●				●
27		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora angusta</i>					●							●			●
28		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora coffeaformis</i>					●										●
29		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora copulata</i>	●				●					●				●	
30		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora laevisima</i>					●										●
31		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora montana</i>	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
32		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora normanii</i>					●		●								
33		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora pediculus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
34		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora polita</i>					●		●				●				●
35		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora strigosa</i>			●		●		●				●	●			
36		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora veneta</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
37		ニセクチビルケイソウ属	<i>Amphora</i> spp.					●										●
38		サミダレケイソウ属	<i>Anomoeoneis sphaerophora</i>					●										
39		サミダレケイソウ属	<i>Anomoeoneis vitrea</i>	●	●													
40		ホシガタケイソウ属	<i>Asterionella formosa</i>		●												●	
41		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira ambigua</i>	●	●			●			●			●				
42		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira granulata</i>	●	●												●	●
43		アウラコセイラ属	<i>Aulacoseira pusilla</i>	●							●							●
44		イカダケイソウ属	<i>Bacillaria paradoxa</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
45		スジフネケイソウ属	<i>Caloneis amphibaena</i> var. <i>subsalina</i>					●										
46		スジフネケイソウ属	<i>Caloneis bacillum</i>	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
47		スジフネケイソウ属	<i>Caloneis molaris</i>									●						
48		オオハリケイソウ属	<i>Catacombas obtusa</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
49		コバンケイソウ属	<i>Cocconeis neothmensis</i> var. <i>marina</i>					●										
50		コバンケイソウ属	<i>Cocconeis pediculus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
51		コバンケイソウ属	<i>Cocconeis placentula</i> var.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
52		コバンケイソウ属	<i>Cocconeis scutellum</i>					●		●								●
53		タイドゲカサケイソウ属	<i>Cyclotephanos dubius</i>		●													
54		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella asterocostata</i>							●								
55		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella meneghiniana</i>	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
56		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella stelligera</i>		●												●	
57		ヒメマルケイソウ属	<i>Cyclotella striata</i>					●		●				●				●
58		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella distalebiseriata</i>	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
59		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella lacustris</i>	●	●	●	●			●				●	●	●	●	●
60		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella leptoceros</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
61		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella minuta</i>		●													
62		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella prostrata</i>		●													
63		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella sinuata</i>	●	●	●	●				●	●			●	●	●	●
64		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella tumida</i>		●	●			●						●			
65		クチビルケイソウ属	<i>Cymbella turgidula</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
66		ハナラビケイソウ属	<i>Denticula</i> sp.	●														
67		イタケイソウ属	<i>Diatoma vulgaris</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
68		ナカケイソウ属	<i>Diploneis oblongella</i>				●	●			●							
69		ナカケイソウ属	<i>Diploneis ovalis</i>				●											●
70		ナカケイソウ属	<i>Diploneis subovalis</i>															●
71		エントモネイス属	<i>Entomoneis japonica</i>					●										
72		エントモネイス属	<i>Entomoneis</i> sp.					●										
73		クシケイソウ属	<i>Eunotia formica</i>	●	●				●		●			●			●	●
74		クシケイソウ属	<i>Eunotia minor</i>	●						●								●
75		クシケイソウ属	<i>Eunotia</i> sp.	●	●						●			●			●	●
76		オビケイソウ属	<i>Fragilaria capitellata</i>	●						●			●					●
77		オビケイソウ属	<i>Fragilaria capucina</i> var. <i>gracilis</i>		●	●									●			
78		オビケイソウ属	<i>Fragilaria capucina</i> var. <i>vaucheriae</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
79		オビケイソウ属	<i>Fragilaria construens</i>					●			●							

表 21 (2) 確認された付着藻類

※●は定量調査、○は目視調査

No.	綱名	和名	学名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区
80	挂藻綱	オビケイソウ属	<i>Fragilaria construens</i> f. <i>venter</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
81		オビケイソウ属	<i>Fragilaria crotonensis</i>	●	●	●												
82		オビケイソウ属	<i>Fragilaria elliptica</i>	●	●	●												
83		オビケイソウ属	<i>Fragilaria fasciculata</i>					●	●	●	●			●	●			●
84		オビケイソウ属	<i>Fragilaria</i> sp.					●										●
85		ヒシガタケイソウ属	<i>Frustulia vulgaris</i>		●				●		●				●			●
86		ヒシガタケイソウ属	<i>Frustulia</i> sp.					●										
87		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema acuminatum</i>		●													
88		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema affine</i>		●	●			●									
89		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema angustatum</i>		●			●										
90		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema angustum</i>		●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	
91		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema clavatum</i>		●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	
92		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema clevei</i>		●	●		●	●	●	●				●		●	
93		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema gracile</i>		●													
94		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema minutum</i>			●	●								●		●	
95		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema parvulum</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
96		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>			●	●		●	●	●	●			●			
97		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema pseudosphaerophorum</i>		●	●	●		●									
98		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema rhombicum</i>		●						●							
99		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema truncatum</i>		●	●			●	●					●		●	
100		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema vibrio</i>		●													
101		クサビケイソウ属	<i>Gomphonema</i> sp.								●							
102		ウミクサビケイソウ属	<i>Gomphonemopsis littoralis</i>					●										●
103		ゴンフォスフェニア属	<i>Gomphosphenia hiwaensis</i>					●			●							
104		エスジケイソウ属	<i>Gyrosigma acuminatum</i>		●													
105		エスジケイソウ属	<i>Gyrosigma nodiferum</i>		●	●				●	●				●	●		
106		ユミケイソウ属	<i>Hantzschia amphioxys</i>				●											
107		ウマノハケイソウ属	<i>Hippodonta linearis</i>												●			●
108		サンカクガサネケイソウ属	<i>Hydrosera triquetra</i>		●	●	●		●	●					●		●	
109		チャツツケイソウ属	<i>Melosira moniliformis</i>					●										●
110		チャツツケイソウ属	<i>Melosira nummuloides</i>					●										●
111		チャツツケイソウ属	<i>Melosira undulata</i>					●		●								
112		チャツツケイソウ属	<i>Melosira varians</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
113		フネケイソウ属	<i>Navicula accomoda</i>		●													
114		フネケイソウ属	<i>Navicula arenaria</i>					●										●
115		フネケイソウ属	<i>Navicula atomus</i>				●				●				●		●	
116		フネケイソウ属	<i>Navicula capitatoradiata</i>			●												
117		フネケイソウ属	<i>Navicula cari</i>					●										
118		フネケイソウ属	<i>Navicula cincta</i>		●	●		●	●	●	●				●		●	
119		フネケイソウ属	<i>Navicula confervacea</i>		●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	
120		フネケイソウ属	<i>Navicula contenta</i>		●	●	●	●	●	●	●							
121		フネケイソウ属	<i>Navicula cryptocephala</i>		●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●
122		フネケイソウ属	<i>Navicula cryptotenella</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
123		フネケイソウ属	<i>Navicula cuspidata</i>												●			
124		フネケイソウ属	<i>Navicula decussis</i>			●				●					●			●
125		フネケイソウ属	<i>Navicula elginensis</i>				●				●				●			
126		フネケイソウ属	<i>Navicula goeppertiana</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
127		フネケイソウ属	<i>Navicula gregaria</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
128		フネケイソウ属	<i>Navicula inflexa</i>					●										
129		フネケイソウ属	<i>Navicula margalithii</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
130		フネケイソウ属	<i>Navicula minima</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
131		フネケイソウ属	<i>Navicula monoculata</i> var. <i>omissa</i>					●										●
132		フネケイソウ属	<i>Navicula mutica</i> var. <i>ventricosa</i>							●								●
133		フネケイソウ属	<i>Navicula nipponica</i>		●	●	●								●	●	●	
134		フネケイソウ属	<i>Navicula perminuta</i>					●										●
135		フネケイソウ属	<i>Navicula platyventris</i>					●										●
136		フネケイソウ属	<i>Navicula pseudoacceptata</i>			●			●						●			●
137		フネケイソウ属	<i>Navicula pupula</i>		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
138		フネケイソウ属	<i>Navicula recens</i>					●							●			
139		フネケイソウ属	<i>Navicula subhamulata</i>				●	●		●								
140		フネケイソウ属	<i>Navicula submuscula</i>		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
141		フネケイソウ属	<i>Navicula symmetrica</i>		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
142		フネケイソウ属	<i>Navicula tenelloides</i>		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
143		フネケイソウ属	<i>Navicula tenera</i>					●							●			●
144		フネケイソウ属	<i>Navicula trivialis</i>		●	●									●			
145		フネケイソウ属	<i>Navicula veneta</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
146		フネケイソウ属	<i>Navicula ventralis</i> var. <i>japonica</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
147		フネケイソウ属	<i>Navicula viridula</i> var. <i>rostellata</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
148		フネケイソウ属	<i>Navicula viridula</i> var. <i>rostrata</i>		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
149		フネケイソウ属	<i>Navicula yuraensis</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
150		フネケイソウ属	<i>Navicula</i> spp.					●		●					●			
151		ハスフネケイソウ属	<i>Neidium ampliatum</i>		●													
152		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia amphibia</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
153		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia capitellata</i>					●							●			
154		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia clausii</i>					●							●			●
155		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia coarctata</i>					●										
156		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia constricta</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
157		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia dissipata</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
158		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia filiformis</i>							●					●			●
159		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia fonticola</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
160		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia frustulum</i>					●							●			●
161		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia inconspicua</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
162		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia levidensis</i> var. <i>salinarum</i>															
163		ハリケイソウ属	<i>Nitzschia linearis</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

表 21 (3) 確認された付着藻類

※●は定量調査、○は目視調査

No.	綱名	和名	学名	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	保土ヶ谷区	緑区	南区	
164	珪藻綱	ハリケイトウ属	<i>Nitzschia nana</i>				●				●				●				
165		ハリケイトウ属	<i>Nitzschia palea</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
166		ハリケイトウ属	<i>Nitzschia paleacea</i>			●			●		●	●			●				
167		ハリケイトウ属	<i>Nitzschia recta</i>		●		●	●	●									●	
168		ハリケイトウ属	<i>Nitzschia scalpelliformis</i>						●									●	
169		ハリケイトウ属	<i>Nitzschia sigma</i>					●										●	
170		ハリケイトウ属	<i>Nitzschia sigmoidea</i>		●														
171		ハリケイトウ属	<i>Nitzschia sinuata</i> var. <i>delognei</i>		●	●	●	●	●	●	●	●				●		●	
172		ハリケイトウ属	<i>Nitzschia vermicularis</i>	●	●						●					●		●	
173		ハリケイトウ属	<i>Nitzschia</i> spp.					●										●	
174		ハネケイトウ属	<i>Pinnularia borealis</i>		●						●								
175		ハネケイトウ属	<i>Pinnularia braunii</i>								●				●			●	
176		ハネケイトウ属	<i>Pinnularia gibba</i>	●	●				●	●				●		●		●	
177		ハネケイトウ属	<i>Pinnularia subcapitata</i>					●						●				●	
178		ハネケイトウ属	<i>Pinnularia viridis</i>		●						●				●			●	
179		メガネケイトウ属	<i>Pleurosigma</i> spp.						●					●		●		●	
180		ジグザグオオメダマケイトウ属	<i>Pleurosira laevis</i>	●		●	●	●	●	●				●		●		●	
181		オビジュウジモドキケイトウ属	<i>Pseudostaurosira brevistriata</i>			●	●							●		●		●	
182		マカリクサバケイトウ属	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●		●	
183		エリツキケイトウ属	<i>Sellaphora tanghongquii</i>			●	●				●		●		●			●	
184	ホネツギケイトウ属	<i>Skeletonema potamos</i>		●										●			●		
185	ジュウジケイトウ属	<i>Stauroneis kriegeri</i>				●	●												
186	ジュウジケイトウ属	<i>Stauroneis smithii</i>				●													
187	オニジュウジケイトウ属	<i>Staurosirella martyi</i>					●							●					
188	トゲカサケイトウ属	<i>Stephanodiscus hantzschii</i>		●															
189	トゲカサケイトウ属	<i>Stephanodiscus niagarae</i>		●															
190	オオコバンケイトウ属	<i>Surirella angusta</i>	●	●				●					●		●		●		
191	オオコバンケイトウ属	<i>Surirella linearis</i>			●								●				●		
192	オオコバンケイトウ属	<i>Surirella</i> spp.			●	●		●											
193	ナガケイトウ属	<i>Synedra acus</i>		●						●						●			
194	ナガケイトウ属	<i>Synedra pulchella</i>			●														
195	ナガケイトウ属	<i>Synedra ulna</i>	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
196	オシャブリケイトウ属	<i>Terpsinoe muninensis</i>								●									
197	ニセコアマケイトウ属	<i>Thalassiosira lacustris</i>		●				●									●		
198	ニセコアマケイトウ属	<i>Thalassiosira weissflogii</i>			●			●		●	●	●							
199	ウルナリア属	<i>Ulnaria japonica</i>								●	●	●				●			
200	ウルナリア属	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
201	紅藻綱	オオイシソウ	<i>Compsopogon coeruleus</i>			●			○	●	○		●		○		●		
202	チャイロカワモズク属	<i>Sheathia</i> sp.	●																
203	カワモズク科の孢子体期	Chantransia stage of Batrachospermaceae sp.	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●		
204	ダンスイベニマダラ	<i>Hildenbrandia rivularis</i>					○	○			○								
205	ホソアヤギヌ	<i>Caloglossa ogasawaraensis</i>						○											
206	褐藻綱	イズミイシノカワ	<i>Heribaudiella fluviatilis</i>					●											
207	緑藻綱	クラミドモナス属	<i>Chlamydomonas</i> sp.							●	●	●	●	●	●	●	●		
208	シオグサ属	<i>Cladophora</i> sp.	●	●	○	●	●	○		●	●	●	●	●	●	●	●		
209	トゲナシツルギ属	<i>Cloniophora</i> sp.			●				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
210	ミカヅキモ属	<i>Closterium</i> sp.			●					●									
211	ツツミモ属	<i>Cosmarium</i> sp.											●						
212	モノラフィデウム属	<i>Monoraphidium fontinale</i>	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
213	サヤミドロ属	<i>Oedogonium</i> sp.		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		
214	クンショウモ属	<i>Pediastrum</i> sp.										●	●	●	●	●	●		
215	ネダシグサ属	<i>Rhizoclonium</i> sp.	●	●		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●		
216	イカダモ属	<i>Scenedesmus</i> spp.	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
217	アオミドロ属	<i>Spirogyra</i> sp.			●					●			●		●		●		
218	キヌミドロ属	<i>Stigeoclonium</i> sp.	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●		
219	ヨツメモ属	<i>Tetraspora</i> sp.			●									●		●	●		
220	スジアオノリ	<i>Ulva prolifera</i>					●							●			●		
221	アワビモ属	<i>Ulvella</i> sp.		●												●			
種類数(定量調査●+目視確認のみ○)				81	101	91	72	115	78	96	92	46	92	51	101	51	90	57	
種類数(定量調査●)				81	101	91	70	113	77	95	90	46	92	51	100	51	90	57	57
調査地点数				3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1	

[水質評価]

表 22 水質評価をした地点数(2022 年度冬季調査)

評価	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	ケ保谷土区	緑区	南区
大変きれい	3	2	3	3	3	2	2	2	1	3		3	1	4	
きれい		1			2	1	1	2		1		2			1
やや汚れている											1				
汚れている															
非常に汚れている															
評価できない															
調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

表 23 水質評価をした地点数(2023 年度夏季調査)

評価	青葉区	旭区	泉区	磯子区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	ケ保谷土区	緑区	南区
大変きれい	2	3	2	3	3	2		2				3		2	
きれい	1		1		2	1	2	2		2	1	2	1	1	
やや汚れている							1		1	2				1	
汚れている															1
非常に汚れている															
評価できない															
調査地点数	3	3	3	3	5	3	3	4	1	4	1	5	1	4	1

## 4.2 各区における結果概要

各区で確認された水生生物や水質などの結果の概要を、区ごとにまとめました。確認されたレッドリスト等掲載種と外来種のカテゴリー、水質評価については下記記号で表しました。

### [レッドリスト等掲載種]

環境省の改訂レッドリスト（2020）、環境省・水産庁の海洋生物レッドリスト（2017）と、神奈川県 RDB として神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006、神奈川県レッドデータブック 2022 植物編のカテゴリーを下記の記号で表しました。

表 24 レッドリスト等掲載種の記号とカテゴリー

記号		カテゴリー	説明
環境省 RL	神奈川県 RDB		
★★★★★★	★★★★★★	絶滅危惧 IA 類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
★★★★★	★★★★★	絶滅危惧 IB 類	IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
★★★★	★★★★	絶滅危惧 II 類	絶滅の危険が増大している種
★★★	★★★	準絶滅危惧	存続基盤が脆弱な種
—	★★	要注意	分布がある程度以上把握されていて、生息地あるいは生息個体数が著しく減少している種
—	★	注目種	種の分布域が県内に固有または分布の限界になっていて、生息環境が脆弱で環境悪化すると絶滅が危惧されるもの
☆	☆	情報不足	評価するだけの情報が不足している種

※放流由来の個体を含む可能性がある種については、「※放流？」としています。

### [外来種]

外来種は、国外外来種、国内外来種、由来不明種、品種を含めました。外来生物法の「特定外来生物」、「条件付特定外来生物」や、環境省及び農林水産省が公表した「生態系被害防止外来種リスト」を含めた外来種のカテゴリーを、下記の記号で表しました。また該当するかどうか不明な場合、「？」として表記しました。

表 25 外来種の記号とカテゴリー等

記号	カテゴリー等	説明
×××××	国外外来種・特定外来生物	外来生物法により、飼養、栽培、保管及び運搬等することが原則禁止
××××	国外外来種 ・総合対策外来種 (一部国内外来種あり)	「生態系被害防止外来種リスト」の中で、総合的に対策が必要な外来種。優先度の考え方によって、「緊急対策外来種」、「重点対策外来種」および「その他の総合対策外来種」に区分される。
××× (?)	国外外来種(の可能性)	国外から人為的に持ち込まれた種 (持ち込まれた可能性のある種)
××	国内外来種	国内の他地域から持ち込まれた種 (持ち込まれた可能性のある種)
××?	由来不明種	放流個体、または放流個体と在来種との交雑の可能性のある種
×	品種	観賞用等の品種として改良された種

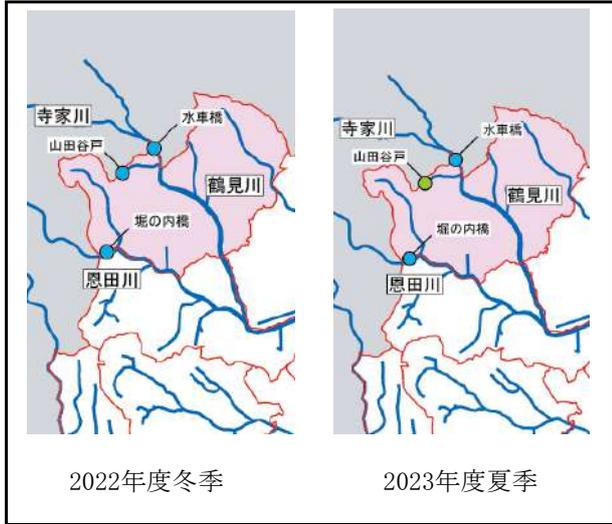
### [水質評価]

各調査地点の水質評価を地図上に表しました。

表 26 水質評価の記号とカテゴリー

記号	水質評価
● (青)	大変きれい
● (緑)	きれい
● (黄)	やや汚れている
● (赤)	汚れている
● (茶)	大変汚れている
● (黒)	評価できない

# 青葉区(鶴見川水系)で確認された水生生物



青葉区内の鶴見川水系の3地点で調査。魚類16種、底生動物55種、水草0種、抽水植物7種、付着藻類81種を確認。  
 魚類はすべて純淡水魚で、在来種4種、外来種10種、由来不明種4種。外来種の侵入で在来種の方が少なくなっている。在来のドジョウは確認できなかった。  
 付着藻類のレッドリスト等掲載種のチャイロカワモズク属を確認。2022年度冬季は「大変きれい」が3地点。2023年度夏季は「大変きれい」が2地点、「きれい」が1地点。



鶴見川 水車橋



恩田川 堀の内橋



カワヨシノボリ ××



マルタニシ ★★★★★



オオカワヂシャ ×××××



カマツカ類 ××?



ゲンジボタルがカワニナを捕食している



チャイロカワモズク属 *Sheathia* sp. ★★★★★★

魚類(レッドリスト等掲載種)	
アブラハヤ	★★★★
(在来種)	
オイカワ、クロダハゼ、モツゴ	
(由来不明種)	
コイ(型不明)、ミナミメダカ、ドジョウ類、カマツカ類	××?
(外来種)	
オオクチバス	×××××
カラドジョウ	××××
コイ(飼育型)	××××
ドジョウ(中国大陸系統)	××××
カワヨシノボリ	××
カワムツ	××
タモロコ	××
イトモロコ	××
コイ(改良品種型)	×
メダカ(飼育品種)	×
計16種(見かけ上18種)	

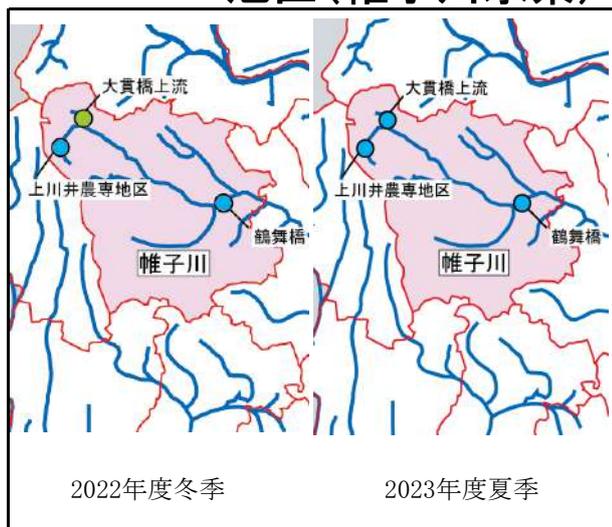
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
マルタニシ	★★★★★
ハグロンボ	★★
ヤマサナエ	★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	×××××
タイワンシジミ	××××
カワリヌマエビ属	×××
アメリカツノズムシ	×××
サカマキガイ	×××
(その他代表種)	
ミズムシ(甲殻類)	
ハモンユスリカ属	
ピロウドイシビル	
コガタシマトビケラ	
ウデマガリコカゲロウ	
スジエビ	
カワニナ	
ゲンジボタル	
計55種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
オオカワヂシャ	×××××
(その他代表種)	
セキショウ	
クサヨシ	
ツルヨシ	
ヒメガマ	
計、水草0種、抽水植物7種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
チャイロカワモズク属	★★★★★★
(外来種)	
クチビルケイソウ属	×××
<i>Cymbella distalebiseriata</i>	
(その他代表種)	
ピロウドランソウ	<i>Homoeothrix janthina</i>
コンボウランソウ属	<i>Chamaesiphon</i> sp.
計81種	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月,2023年7~9月)

## 旭区(帷子川水系)で確認された水生生物



旭区内の帷子川水系3地点で調査。魚類17種、底生動物49種、水草3種、抽水植物3種、付着藻類101種を確認。

魚類は、源流域では純淡水魚のホトケドジョウやクロダハゼが生息。中流域の鶴舞橋では、通し回遊魚のアユがみられたほか、国内外来種のギバチやホンモロコが確認された。

2022年度冬季は「大変きれい」が2地点、「きれい」が1地点。2023年度夏季は「大変きれい」が3地点。



帷子川 大貫橋上流



帷子川 鶴舞橋



ホトケドジョウ ★★★★★★☆☆☆☆



コシボソヤンマ ★★



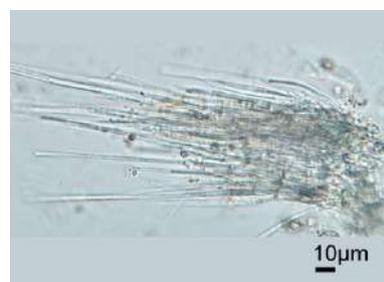
ウチワゼニクサ ××××



ギバチ ××



サカマキガイ ×××



ピロウドランソウ *Homoeothrix janthina*

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ホトケドジョウ	★★★★★
	★★★★★
アブラハヤ	★★★★
ウグイ	★★★★
ヒガシシマドジョウ	★★★★
(在来種)	
(純淡水魚) オイカワ、モツゴ、ギンブナ、クロダハゼ	
(通し回遊魚) ヌマチチブ、シマヨシノボリ、アユ、スミウキゴリ	
(由来不明種)	
ミナミメダカ	××?
(外来種)	
ドジョウ(中国大陸系統)	××××
カワムツ	××
ホンモロコ	××
ギバチ	××
計	17種

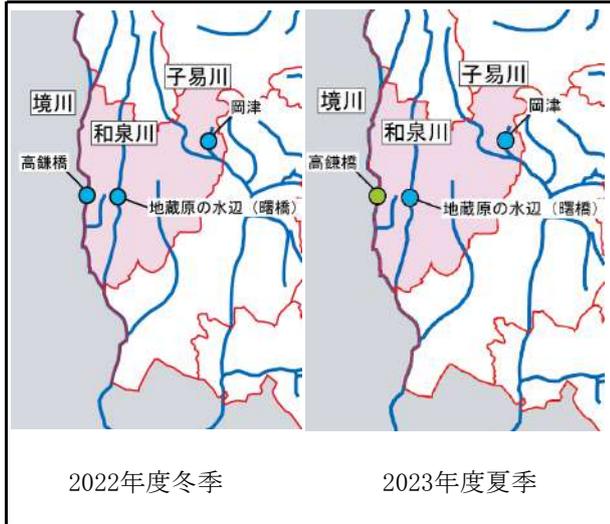
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
コヤマトンボ	★★★★
ハグロトンボ	★★
コシボソヤンマ	★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
タイワンシジミ	××××
アメリカツノウズムシ	×××
カワリヌマエビ属	×××
サカマキガイ	×××
(その他代表種)	
ミズミズ亜科	
ハモンユスリカ属	
ハモンユスリカ属	
オニヤンマ	
スジエビ	
アメンボ	
ギンヤンマ	
シオカラトンボ	
計	49種

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
—	
(外来種)	
オオカダナモ	××××
オランダガラシ	××××
(その他代表種)	
エビモ	
ヒメガマ	
ヨシ	
計、水草3種、抽水植物3種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
—	
(外来種) ×××	
エリツケイソウ属 <i>Sellaphora tanghongquii</i>	
トゲカサケイソウ属 <i>Stephanodiscus niagarae</i>	
(その他代表種)	
ピロウドランソウ <i>Homoeothrix janthina</i>	
クサビケイソウ属 <i>Gomphonema parvulum</i>	
マカヅケイソウ属 <i>Achnanthes minutissima</i>	
計	101種

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月, 2023年7~9月)

## 泉区(境川水系)で確認された水生生物



泉区内の境川水系3地点で調査。魚類14種、底生動物65種、水草0種、抽水植物5種、付着藻類91種を確認。魚類は純淡水魚のアブラハヤ、カマツカ類などのほか、通し回遊魚のアユ、ボウズハゼ、シマヨシノボリが確認された。底生動物ではヒラマキミズマイマイ、コヤマトンボ、付着藻類ではオオイシソウ等が確認された。2022年度冬季は「大変きれい」が3地点。2023年度夏季は、「大変きれい」が2地点、「きれい」が1地点。



和泉川 地蔵原の水辺



境川 高鎌橋



アユ



コヤマトンボ

★★★★



キシユウスズメノヒエ ××××



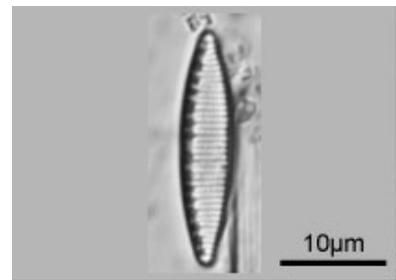
カワムツ

××



アメリカザリガニ

×××××



ハリケイソウ属 *Nitzschia amphibia*

魚類(レッドリスト等掲載種)	
アブラハヤ	★★★★
ボウズハゼ	★★★★
(在来種)	
(純淡水魚)オイカワ、モツゴ	
(通し回遊魚)アユ、シマヨシノボリ	
(由来不明種)	
コイ(型不明)、ミナミダカ、カマツカ類	××?
(外来種)	
カダヤシ	×××××
ドジョウ(中国大陸系統)	××××
コイ(飼育型)	××××
コイ(改良品種型)	×
カワムツ	××
タモロコ	××
計14種(見かけ上15種)	

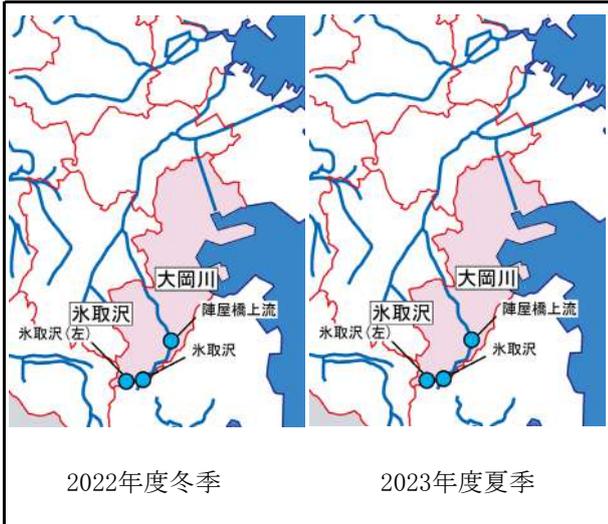
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヒラマキミズマイマイ	☆
コヤマトンボ	★★★★
ハグロトンボ	★★
コシボソヤンマ	★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	×××××
フロリダミズヨコエビ	××××
タイワンシジミ	××××
カワリヌマエビ属	×××
アメリカツノウズムシ	×××
ヒロマキミズマイマイ	×××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
(その他代表種)	
ウデマカリコカゲロウ	
ミズミズ亜科	
コガタシマトビケラ	
シロハラコカゲロウ	
ヒラテテナガエビ	
計65種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
キシユウスズメノヒエ	××××
(その他代表種)	
ツルヨシ	
ヨシ	
計、水草0種、抽水植物5種	
植物は、水草と水際の抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★★
(外来種) ×××	
エリツケイソウ属 <i>Sellaphora tanghongquii</i>	
クチビルケイソウ属 <i>Cymbella distalebiseriata</i>	
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia amphibia</i>	
ピロウドランソウ <i>Homoeothrix janthina</i>	
チャツケイソウ属 <i>Melosira varians</i>	
フネケイソウ属 <i>Navicula minima</i>	
計91種	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月, 2023年7~9月)

# 磯子区(大岡川水系)で確認された水生生物



磯子区内の大岡川水系(源・上流)3地点で調査。魚類7種、底生動物88種、水草0種、抽水植物1種、付着藻類72種を確認。  
 魚類はアブラハヤ、ホトケドジョウ、ヒガシシマドジョウなど源流・上流域に生息する種が確認された。アブラハヤと国内外来種のタカハヤの交雑個体と思われるアブラハヤ属を確認。国内外来種カワムツが分布拡大。  
 2022年度冬季、2023年度夏季ともに、全地点で「大変きれい」。



大岡川 氷取沢



大岡川 陣屋橋上流



ホトケドジョウ ★★★★★★★★★★



ハグロトンボ ★★



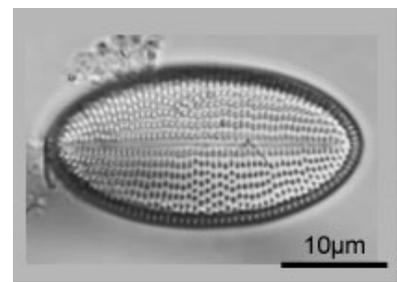
セキショウ



アブラハヤ属 ××?



ゲンジボタル(幼虫)



コバンケイウ属 *Cocconeis placentula* var.

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ホトケドジョウ	★★★★★
アブラハヤ	★★★★★
ヒガシシマドジョウ	★★★★
(在来種)	
(純淡水魚)オイカワ	
(通し回遊魚)シマヨシノボリ	
(由来不明種)	
アブラハヤ属 ××?	
(アブラハヤ×タカハヤとして)	
(外来種)	
カワムツ	××
タカハヤ	××
計7種(見かけ上8種)	

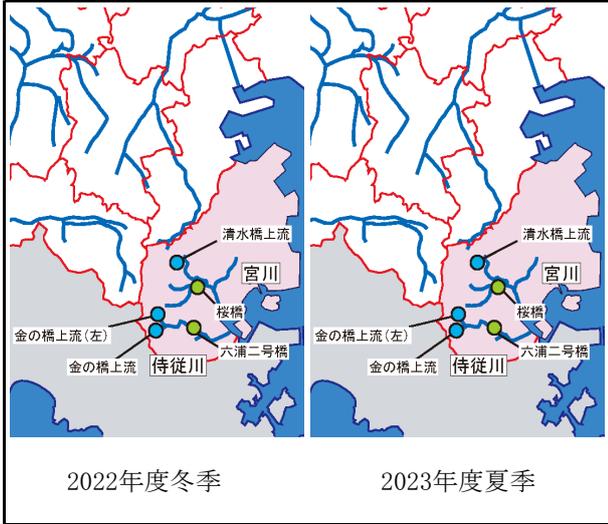
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
コヤマトンボ	★★★★
ヤマサナエ	★★
ハグロトンボ	★★
ミルンヤシマ	★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	×××××
コモチカワツボ	××××
タイワンシジミ	××××
カワリヌマエビ属	×××
サカマキガイ	×××
アメリカツノウズムシ	×××
モノアラガイ科	×××(?)
(その他代表種)	
シロハラコカゲロウ	
ヌカエビ	
ミズミズ亜科	
マメシジミ属	
ダビドサナエ	
ゲンジボタル(幼虫)	
計88種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
-	
(その他代表種)	
セキショウ	
計、水草0種、抽水植物1種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
ダンスイベニマダラ	★★★★★
(その他代表種)	
コバンケイウ属 <i>Cocconeis placentula</i> var.	
コバンケイウ属 <i>Cocconeis pediculus</i>	
マカリクサヒケイウ属	
<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>	
計72種(大型藻類2種を含む)	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月,2023年7~9月)

# 金沢区(宮川水系・侍従川水系)で確認された水生生物



金沢区内の宮川水系2地点、侍従川水系3地点で調査。魚類16種、底生動物91種、水草0種、抽水植物3種、付着藻類115種を確認。  
 回遊魚や汽水に生息する魚類が多く確認された。源・上流域まで回遊魚のスマウキゴリが見られた。宮川ではアブラハヤを本調査初確認。  
 付着藻類のイズミイシノカワ、タンスイベニマダラ等を確認。2022年度冬季、2023年度夏季ともに、源・上流域の3地点は「大変きれい」、感潮域の2地点は「きれい」。



侍従川 金の橋上流(左)



宮川 桜橋



ニホンウナギ ★★★★★



タイワンヒライソモドキ ★★★



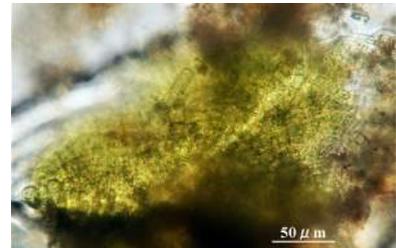
キショウブ ××××



ピリンゴ



ウミナ ★★★



イズミイシノカワ ★★★★★★ ★★★★★★

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ニホンウナギ	★★★★★
アブラハヤ	★★★★
スマウキゴリ	★★★★
ウロハゼ	★
(在来種)	
(通し回遊魚)	
ボラ、シマイサキ、マハゼ	
アシシロハゼ、アベハゼ、チチブ	
ヒナハゼ、シマヨシノボリ	
ツマグロスジハゼ、ピリンゴ	
(由来不明種)	
ミナミメダカ	××?
(外来種)	
カダヤシ	×××××
計16種	

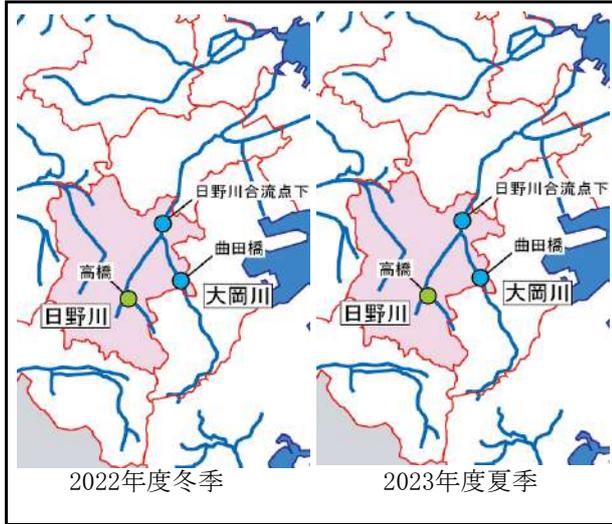
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
タイワンヒライソモドキ	★★★
ウミナ	★★★
ミルンヤンマ	★★
ヤマサナエ	★★
コシボソヤンマ	★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	×××××
コモチカワツボ	××××
アメリカフジツボ	××××
コウロエンカワヒバリガ	××××
タテジマフジツボ	××××
タイワンシジミ	××××
イガイダマン	××××
ヨーロッパフジツボ	××××
チチュウカイミドリガニ	××××
サカマキガイ	×××
カワリヌマエビ属	×××
アメリカツノウズムシ	×××
計91種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
—	
(外来種)	
キショウブ	××××
(その他代表種)	
セキショウ	
ツルヨシ	
水草0種、抽水植物3種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
イズミイシノカワ	★★★★★★★ ★★★★★★
タンスイベニマダラ	★★★ ★★★★★
ホソアヤギヌ	★★★
(外来種) ×××	
カチビルケイソウ属	<i>Cymbella distalebiseriata</i>
(その他代表種)	
ハリケイソウ属	<i>Nitzschia amphibia</i>
ハリケイソウ属	<i>Nitzschia inconspicua</i>
計115種(大型藻類2種を含む)	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月～2023年1月, 2023年7～9月)

# 港南区(大岡川水系)で確認された水生生物



港南区内の大岡川水系3地点で調査。魚類15種、底生動物52種、水草3種、抽水植物2種、付着藻類78種を確認。  
 魚類はアブラハヤなどの純淡水魚とアユなどの回遊魚が確認された。また日野川合流点下は淡水の流水域であるが、主に汽水域や海域に生息するボラ、マハゼ、チチブが侵入していた。  
 2022年度冬季、2023年度夏季ともに、「大変きれい」が2地点、「きれい」が1地点。



日野川 高橋 大岡川 日野川合流点下



ヒガシシマドジョウ ★★★



ヒラマキズマイマイ ☆



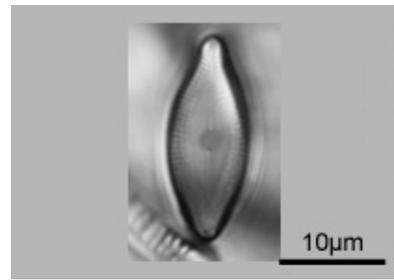
エビモ



スマチチブ



コモチカワツボ ××××



フネケイソウ属 *Navicula confervacea*

魚類(レッドリスト等掲載種)	
アブラハヤ	★★★★
ヒガシシマドジョウ	★★★★
ゴクラクハゼ	★★★★
スミウキゴリ	★★★★
(在来種)	
(純淡水魚) オイカワ	
(通し回遊魚)	
アユ、スマチチブ、チチブ、シマヨシノボリ、ウキゴリ	
(周縁性淡水魚)	
ボラ、マハゼ	
(由来不明種)	
ミナメダカ	××?
コイ(型不明)	××?
(外来種)	
ドジョウ(中国大陸系統)	××××
計15種	

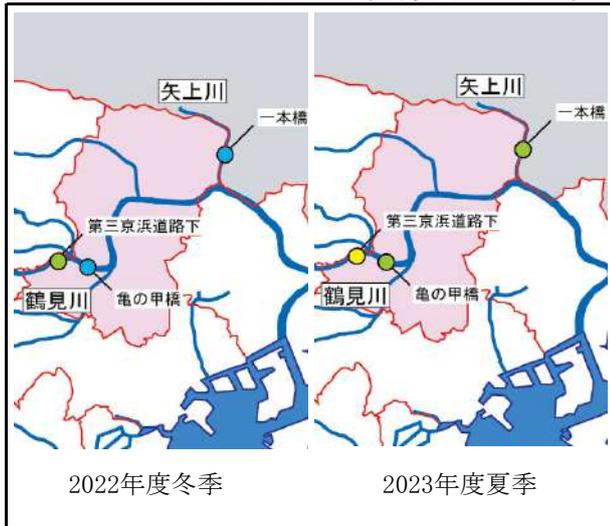
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ヒラマキズマイマイ	☆
コヤマトンボ	★★★★
ハグロトンボ	★★
コシボソヤシマ	★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	×××××
コモチカワツボ	××××
台湾シジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
アメリカツノウズムシ	×××
サカマキガイ	×××
カワリスマエビ属	×××
モノアラガイ科	×××(?)
ウスイロオカチグサ	××
(その他代表種)	
フタモンコカゲロウ	
ウスイロフトヒゲコカゲロウ	
ウデマガリコカゲロウ	
ミズレスマエビ	
計52種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
—	
(外来種)	
コカナダモ	××××
ウチワゼニクサ	××××
(その他代表種)	
エビモ、アキノイトモ	
クサヨシ	
計、水草3種、抽水植物2種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★★ ★★★★★
(その他代表種)	
シオグサ属	<i>Cladophora</i> sp.
フネケイソウ属	<i>Navicula confervacea</i>
コパンケイソウ属	<i>Cocconeis placentula</i> var.
コパンケイソウ属	<i>Cocconeis pediculus</i>
マガリクサヒケイソウ属	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>
計78種(大型藻類2種を含む)	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月,2023年7~9月)

# 港北区(鶴見川水系)で確認された水生生物



港北区内の鶴見川水系3地点で調査。魚類は21種、底生動物は43種、水草は3種、抽水植物5種、付着藻類96種を確認。  
 魚類はオイカワなどの純淡水魚、マルタなどの回遊魚、マハゼなどの汽水に生息する種を確認。また鶴見川本川では水草のコウガイセキショウモが繁茂していた。  
 2022年度冬季は、「大変きれい」2地点、「きれい」1地点。2023年度夏季は「きれい」2地点、「やや汚れている」1地点。



鶴見川 亀の甲橋



矢上川 一本橋



ボラ



カワリヌマエビ属 ×××



コウガイセキショウモ ××××



アベハゼ



テナガエビ



オオイシソウ ★★★★★ ★★★★★

魚類(レッドリスト等掲載種)	
マルタ	★★★★★
ゴクラクハゼ	★★★★
(在来種)	
(純淡水魚) オイカワ	
(通し回遊魚) ヌマチチブ、ヒナハゼ	
シマヨシノボリ、ウキゴリ、ピリンゴ	
(周縁性淡水魚)	
ボラ、スズキ、クロダイ	
アシシロハゼ、アベハゼ、シモフリシマハゼ、マハゼ	
(由来不明種)	
コイ(型不明)、ミナメダカ	
カマツカ類	××?
(外来種)	
カダヤシ	×××××
ドジョウ(中国大陸系統)	××××
イトモロコ	××
計21種(見かけ上22種)	

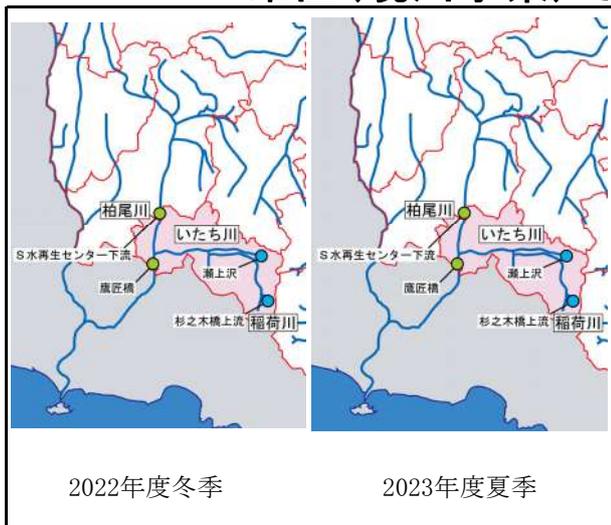
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ハグロトンボ	★★
(外来種)	
タイワンシジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
カワリヌマエビ属	×××
アメリカツノウズムシ	×××
ヒロマキミズマイマイ	×××
(その他代表種)	
ミズミズ亜科	
イトミズ亜科	
ミゾレヌマエビ	
テナガエビ	
モクズガニ	
アジアイトトンボ	
計43種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
オオカタナモ	××××
コウガイセキショウモ	××××
コゴメイ	××××
(その他代表種)	
アイノコイトモ、セキショウ、コゴメイ	
計、水草3種、抽水植物5種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★★ ★★★★★
(外来種)	
エリツケイソウ属 <i>Sellaphora tanghongquii</i>	×××
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia amphibia</i>	
フネケイソウ属 <i>Navicula gregaria</i>	
クサビケイソウ属 <i>Gomphonema parvulum</i>	
計96種(大型藻類1種を含む)	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月, 2023年7~9月)

## 栄区(境川水系)で確認された水生生物



栄区内の境川水系(源上流～中下流)4地点で調査。魚類20種、底生動物91種、水草1種、抽水植物11種、付着藻類92種を確認。

魚類はアブラハヤなどの純淡水魚やアユなどの回遊魚が主に確認されたほか、汽水域に生息するボラやマハゼが侵入していた。在来種のキタドジョウ関東集団を確認。

2022年度冬季、2023年度夏季ともに、源・上流域の2地点は「大変きれい」、中・下流域の2地点は「きれい」。



稲荷川 杉之木橋上流



柏尾川 鷹匠橋



キタドジョウ関東集団 ☆



ミルンヤンマ ★★



タコノアシ ★★★



アユ



ウスイロオカチグサ ××



タンスイベニマダラ ★★★★★

魚類(レッドリスト等掲載種)	
アブラハヤ	★★★★
ボウズハゼ	★★★★
ゴクラクハゼ	★★★★
スミウキゴリ	★★★★
キタドジョウ関東集団	☆
(在来種)	
(純淡水魚) オイカワ、モツゴ	
(通し回遊魚) アユ、ヌマチチブ	
シマヨシノボリ、トウヨシノボリ類	
(周縁性淡水魚) ボラ、マハゼ	
(由来不明種)	
コイ(型不明)、ミナミメダカ	××?
(外来種)	
カダヤシ	×××××
グッピー	××××
カワムツ	××
タモロコ	××
計20種	

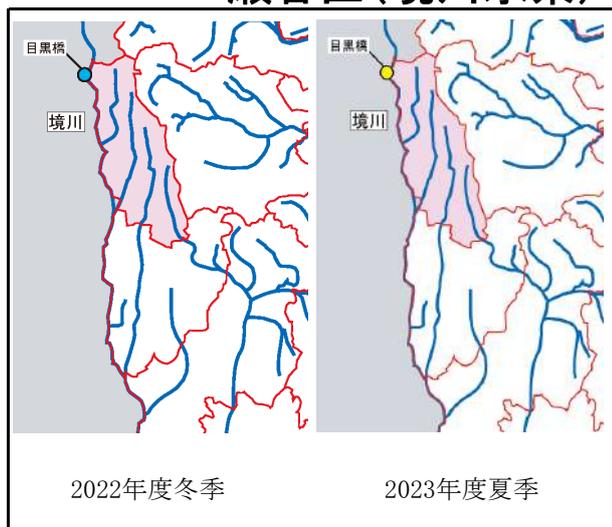
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
コヤマトンボ	★★★★
ヤマサナエ	★★
ミルンヤンマ	★★
ハグロトンボ	★★
コシボソヤンマ	★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	×××××
タイワンシジミ	××××
フロリダマズヨコエビ	××××
カワリヌマエビ属	×××
ヒロマキミズマイマイ	×××
アメリカツノウズムシ	×××
サカマキガイ	×××
ウスイロオカチグサ	××
(その他代表種)	
ミズムシ	
ハモンユスリカ属	
ウデマカリコカゲロウ	
ミズレヌマエビ	
計91種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
ミズキンバイ	★★★★★
タコノアシ	★★★
(外来種)	
オオカワヂシャ	×××××
オランダガラシ	××××
コゴメイ	××××
キシユウスズメノヒエ	××××
計、水草1種、抽水植物11種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★★
タンスイベニマダラ	★★★★★
(その他代表種)	
ピロウドランソウ <i>Homoeothrix janthina</i>	
クサビケイソウ属 <i>Gomphonema parvulum</i>	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia palea</i>	
マグリケイソウ属 <i>Achnanthes exigua</i>	
マグリケイソウ属 <i>Achnanthes lanceolata</i>	
計92種(大型藻類2種を含む)	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月～2023年1月, 2023年7～9月)

## 瀬谷区(境川水系)で確認された水生生物



瀬谷区内の境川水系1地点で調査。魚類6種、底生動物34種、水草0種、抽水植物1種、付着藻類46種を確認。魚類は純淡水魚のオイカワやカワヨシノボリなどが確認された。国内外来種のカワヨシノボリは、境川水系で増えていると考えられる。回遊魚は確認されなかった。底生動物のレッドリスト掲載種のハグロトンボのほか、外来種のアメリザリガニ、タイワンシジミなどを確認。2022年度冬季は「大変きれい」、2023年度夏季は「やや汚れている」。



境川 目黒橋(上流方向)



(目黒橋上流側)



オイカワ



フロリダマミズヨコエビ ××××



ツルヨシ



マダラロリカリア属 ××××



オナガサナエ



シオグサ属 *Cladophora* sp.

魚類(在来種)	
(純淡水魚)オイカワ、モツゴ	
(外来種)	
マダラロリカリア属	××××
タモロコ	××
カワヨシノボリ	××
キンギョ	×
計6種	

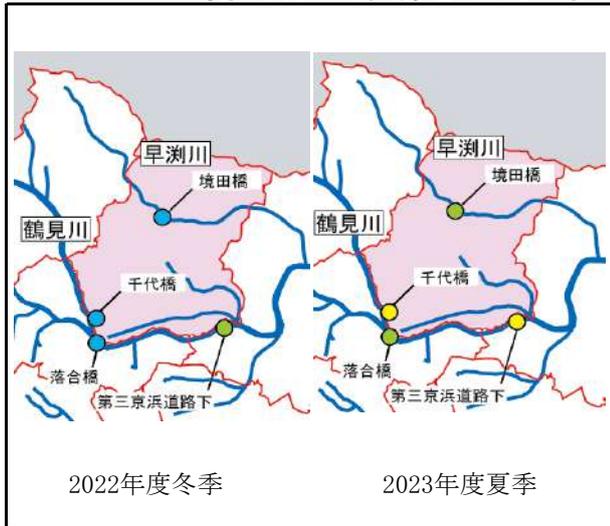
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ハグロトンボ	★★
(外来種)	
アメリザリガニ	×××××
タイワンシジミ	××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
アメリカツノウズムシ	×××
カワリヌマエビ属	×××
モノアラガイ科	×××(?)
ヒロマキミズマイマイ	×××
(その他代表種)	
ウデマガリコカゲロウ	
ミズミズ亜科	
コガタシマトビケラ	
ヒメモノアラガイ	
オナガサナエ	
計34種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
-	
(その他代表種)	
ツルヨシ	
計、水草0種、抽水植物1種	
植物は、水草と水際の抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種) ×××	
クチビルケイソウ属 <i>Cymbella distalebiseriata</i>	
エリツケケイソウ属 <i>Sellaphora tanghongquii</i>	
(その他代表種)	
シオグサ属 <i>Cladophora</i> sp.	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia amphibia</i>	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia inconspicua</i>	
イタケイソウ属 <i>Diatoma vulgaris</i>	
計46種	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月, 2023年7~9月)

# 都筑区(鶴見川水系)で確認された水生生物



都筑区内の鶴見川水系4地点で調査。魚類24種、底生動物66種、水草5種、抽水植物6種、付着藻類92種を確認。  
 魚類はオイカワなどの純淡水魚の他、回遊魚、周縁性淡水魚が確認された。外来種を多く確認。特に国内外来種でその他の総合対策外来種のギギの侵入が確認された。  
 2022年度冬季は「大変きれい」が3地点、「きれい」が1地点。2023年度夏季は「きれい」が2地点、「やや汚れている」が2地点。



早瀬川 境田橋

鶴見川 千代橋



スミウキゴリ ★★★



コヤマトンボ ★★★



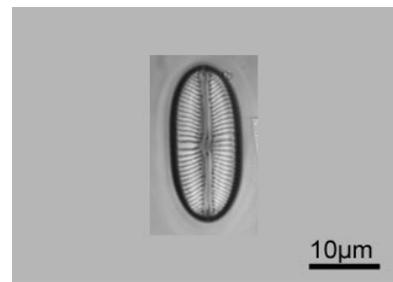
オランダガラシ ××××



オイカワ



アメリカツノウズムシ ×××



エリツケイソウ属 ×××

魚類(レッドリスト等掲載種)	
マルタ	★★★★
アブラハヤ	★★★★
ゴクラクハゼ	★★★★
スミウキゴリ	★★★★
(在来種)	
(純淡水魚)オイカワ、モツゴ、フナ属	
(通し回遊魚)アユ、ヌマチチブ	
シマヨシノボリ、トウヨシノボリ類	
ウキゴリ、(周縁性淡水魚)ボラ、スズキ	
(由来不明種)	
コイ(型不明)、ミナミメダカ	
カマツカ類	××?
(外来種)	
オオクチバス	×××××
ブルーギル	×××××
カダヤシ	×××××
ギギ(国内外来)	××××
コイ(飼育型)	××××
カワムツ、タモロコ、イトモロコ	××
計24種(見かけ上25種)	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
モノアラガイ	★★★★
コヤマトンボ	★★★★
ハグロトンボ	★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	×××××
フロリダマミズココエビ	××××
台湾シジミ	××××
アメリカツノウズムシ	×××
カワリヌマエビ属	×××
ヒロマキミズマイマイ	×××
サカマキガイ	×××
(その他代表種)	
ミズミズ亜科	
ウデマガリコカゲロウ	
ナガレユスリカ属	
アジアイトンボ	
フタモンコカゲロウ	
コガタシマトビケラ	
計66種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
—	
(外来種)	
オオカナダモ	××××
コウガイセキショウモ	××××
コゴメイ	××××
オランダガラシ	××××
ウチワゼニクサ	××××
計、水草5種、抽水植物6種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★ ★★★★★
(外来種) ×××	
エリツケイソウ属 <i>Sellaphora tanghongquii</i>	
ケチビルケイソウ属 <i>Cymbella distalebiseriata</i>	
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia amphibia</i>	
フネケイソウ属 <i>Navicula gregaria</i>	
マガリケイソウ属 <i>Achnanthes lanceolata</i>	
計92種	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月, 2023年7~9月)

# 鶴見区(鶴見川水系)で確認された水生生物



鶴見区内の鶴見川水系1地点で調査。魚類13種、底生動物23種、水草0種、抽水植物3種、付着藻類51種を確認。橋梁工事に伴い調査地点を末吉橋から変更。汽水に生息するボラ、マハゼなどのほか、回遊魚のヌマチチブなどが主に確認された。その他に純淡水魚のコイ、カダヤシが確認された。

2022年度冬季は「やや汚れている」、2023年度夏季は「きれい」。



キチヌ ☆



イガイダマシ ××××



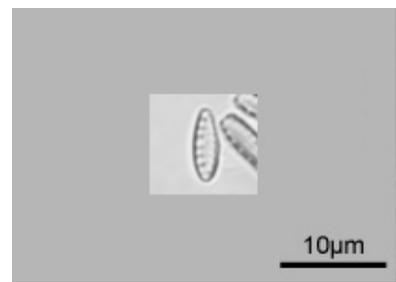
ヨシ



ウロハゼ ★



モクズガニ



ハリケイソウ属 *Nitzschia inconspicua*

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ゴクラクハゼ	★★★
ウロハゼ	★
キチヌ	☆
(在来種)	
(通し回遊魚)	
ヌマチチブ、ヒナハゼ、ピリンゴ	
(周縁性淡水魚)	
ボラ、マハゼ、アシシロハゼ	
アベハゼ、シモフリシマハゼ	
(由来不明種)	
コイ(型不明)	××?
(外来種)	
カダヤシ	×××××
計13種(見かけ上14種)	

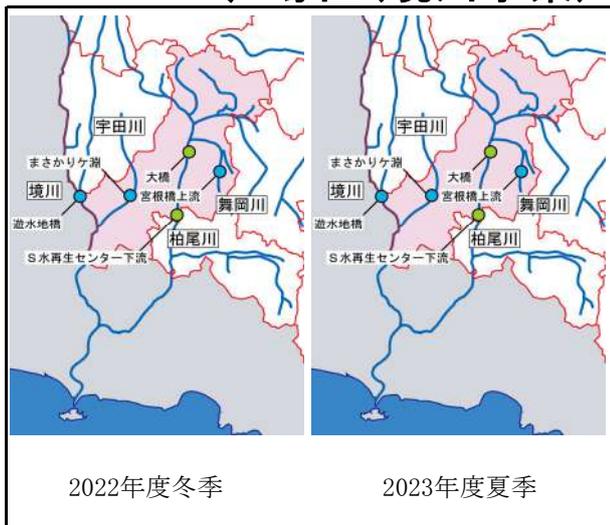
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ハグロトンボ	★★
(外来種)	
イガイダマシ	××××
(その他代表種)	
ミズミズ亜科	
ドロクダムシ属	
ホソコムスリカ属	
シラタエビ	
テナガエビ	
モクズガニ	
クロチビミズムシ	
ヤマトカワゴカイ	
計23種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
-	
(その他代表種)	
ヨシ	
ヒメガマ	
カンガレイ	
計、水草0種、抽水植物3種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
-	
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia inconspicua</i>	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia frustulum</i>	
リングビア属 <i>Lyngbya</i> sp.	
計51種	

☆★印と×印の凡例は表24と表25 (p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月, 2023年7~9月)

# 戸塚区(境川水系)で確認された水生生物



戸塚区内の境川水系5地点で調査。源流から中・下流域まで幅広い。魚類は25種、底生動物82種、水草1種、抽水植物14種、付着藻類101種を確認。  
 オイカワ、モツゴなどの純淡水魚のほか、アユなどの回遊魚が多く見られた。  
 抽水植物のミズキンバイ、タコノアシが確認されている。  
 2022年度冬季、2023年度夏季ともに、柏尾川本流の2地点は「きれい」、その他の3地点は「大変きれい」。



境川 遊水地橋      舞岡川 宮根橋上流



ボウズハゼ      ★★★★★



コシボソヤンマ      ★★



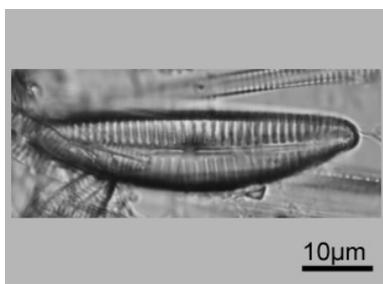
ミズキンバイ      ★★★★★ ★★★★★



ドジョウ(中国大陸系統)      ×××



カワリヌマエビ属      ×××



クチビルケイソウ属      ×××

魚類(レッドリスト等掲載種)	
アブラハヤ	★★★★
ボウズハゼ	★★★★
ゴクラクハゼ	★★★★
スミウキゴリ	★★★★
(在来種)	
(純淡水魚)ギンブナ、オイカワ、モツゴ、クロダハゼ(通し回遊魚)アユ、ヌマチチブ、トウヨシノボリ類	
(周縁性淡水魚)ボラ	
(由来不明種)	
コイ(型不明)、ミナミメダカ	
カマツカ類	××?
(外来種)	
ブルーギル	×××××
カダヤシ	×××××
グッピー	××××
ドジョウ(中国大陸系統)	×××
カムルチー	×××
カワムツ	××
計25種	

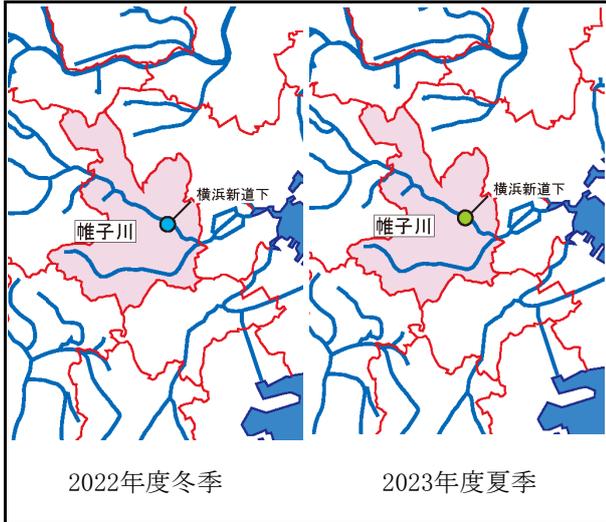
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ハグロトンボ	★★
ヤマサナエ	★★
コシボソヤンマ	★★
コヤマトンボ	★★★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	×××××
フロリダミズヨコエビ	××××
タイワンシジミ	××××
カワリヌマエビ属	×××
アメリカツノウズムシ	×××
ヒロマキミズマイマイ	×××
サカマキガイ	×××
モノアラガイ科	×××(?)
(その他代表種)	
ミズミズ亜科	
ハモンユスリカ属	
ミズムシ	
コガタシマトビケラ	
ヒラテテナガエビ	
計82種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
ミズキンバイ	★★★★★ ★★★★★
タコノアシ	★★★★
(外来種)	
オオカワヂシャ	×××××
キシヨウブ	××××
オランダガラシ	××××
ウチワゼニクサ	××××
キシユウスズメノヒエ	××××
計、水草1種、抽水植物14種	
植物は、水草と抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★★ ★★★★★
(外来種)      ×××	
クチビルケイソウ属 <i>Cymbella distalebiseriata</i>	
エリツケイソウ属 <i>Sellaphora tanghongquii</i>	
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia amphibia</i>	
クサビケイソウ属 <i>Gomphonema parvulum</i>	
計101種(大型藻類1種を含む)	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月,2023年7~9月)

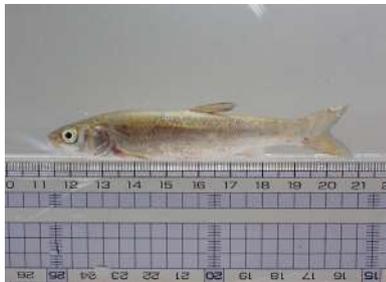
# 保土ヶ谷区(帷子川水系)で確認された水生生物



保土ヶ谷区内の帷子川水系1地点で調査。魚類17種、底生動物36種、水草1種、抽水植物5種、付着藻類51種を確認。  
感潮域上端の区域にあたり、主に回遊魚と汽水に生息する種が確認された。回遊魚はマルタやアユの他、ゴクラクハゼやシマヨシノボリなどハゼの仲間が確認された。周縁性淡水魚としてはボラやスズキなどが確認された。  
2022年度冬季は「大変きれい」。2023年度夏季は「きれい」。



帷子川 横浜新道下(冬季) (夏季)



マルタ ★★★★★



ハグロトンボ ★★



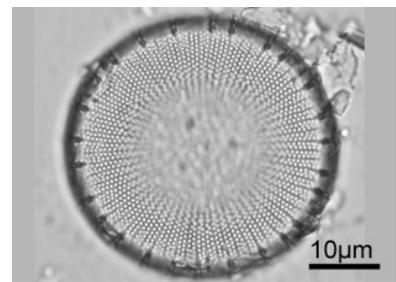
ヒメガマ



スズキ



タイワンシジミ ××××



トゲカサケイウ属 ×××

魚類(レッドリスト等掲載種)	
マルタ	★★★★★
ゴクラクハゼ	★★★★
スミウキゴリ	★★★★
(在来種)	
(純淡水魚)オイカワ	
(通し回遊魚)アユ、ヌマチチブ	
チチブ、シマヨシノボリ、ウキゴリ	
ビリンゴ	
(周縁性淡水魚)ボラ、スズキ	
マハゼ	
(由来不明種)	
コイ(型不明)	××?
ミナメダカ	××?
(外来種)	
ブルーギル	×××××
コイ(改良品種型)	×
計17種(見かけ上18種)	

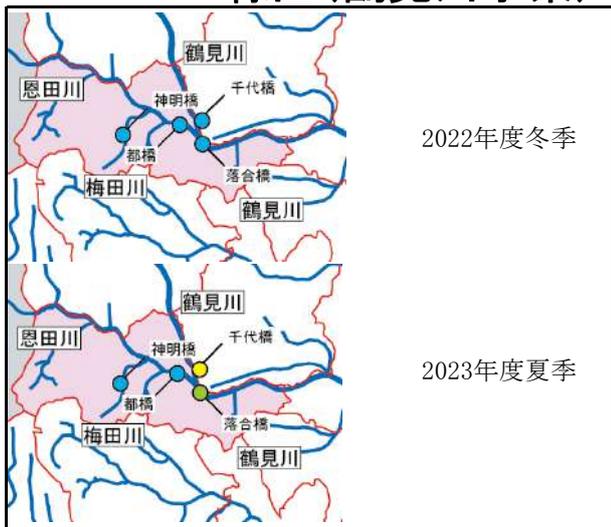
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
ハグロトンボ	★★
(外来種)	
タイワンシジミ	××××
アメリカツノウズムシ	×××
カワリヌマエビ属	×××
(その他代表種)	
トクナガエリユスリカ属	
ミズミズ亜科	
コガタシマトビケラ	
ミズムシ	
ヒラテテナガエビ	
オナガサナエ	
コオニヤンマ	
オニヤンマ	
計36種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
オオカワヂシャ	×××××
オランダガラシ	××××
ウチワゼニクサ	××××
(その他代表種)	
ヨシ	
計、水草1種、抽水植物5種	
植物は、水草と水際の抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種) ×××	
トゲカサケイウ属	<i>Stephanodiscus niagarae</i>
(その他代表種)	
ピロウドランソウ	<i>Homoeothrix janthina</i>
マガリケイウ属	<i>Achnanthes japonica</i>
ハリケイウ属	<i>Nitzschia amphibia</i>
ハリケイウ属	<i>Nitzschia fonticola</i>
計51種	

☆★印と×印の凡例は表24と表25 (p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月, 2023年7~9月)

# 緑区(鶴見川水系)で確認された水生生物



緑区内の鶴見川水系の4地点で調査。魚類19種、底生動物65種、水草6種、抽水植物6種、付着藻類90種を確認。

魚類はオイカワ、カダヤシなどの純淡水魚が確認され、回遊魚は確認されなかった。国内外来種でその他の総合対策外来種のギギの侵入が確認された。

2022年度冬季は、「大変きれい」4地点。「2023年度夏季は、「大変きれい」2地点、「きれい」1地点、「やや汚れている」が1地点。



梅田川 神明橋



鶴見川 落合橋



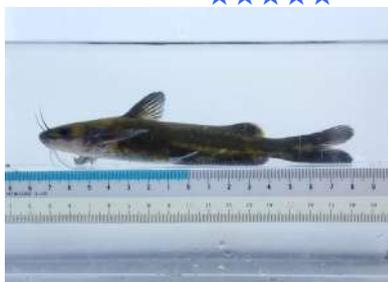
ホトケドジョウ ★★★★★  
★★★★★



モノアラガイ ★★★



オオフサモ ×××××



ギギ(国内外来) ××××



ヤマサナエ ★★



オオイシソウ ★★★★★ ★★★★★

魚類(レッドリスト等掲載種)	
ホトケドジョウ	★★★★★
アブラハヤ	★★★★★
(在来種)	★★★★
(純淡水魚)ギンブナ、オイカワ	
モツゴ	
(由来不明種)	
コイ(型不明)、ミナメダカ、ドジョウ類	
カマツカ類	××?
(外来種)	
ブルーギル	×××××
オオクチバス	×××××
カダヤシ	×××××
コイ(飼育型)	××××
ギギ(国内外来)	××××
ドジョウ(中国大陸系統)	×××
カワムツ、タモロコ、イトモロコ	××
ナマズ、カワヨシノボリ	××
コイ(改良品種型)	×
計19種(見かけ上22種)	

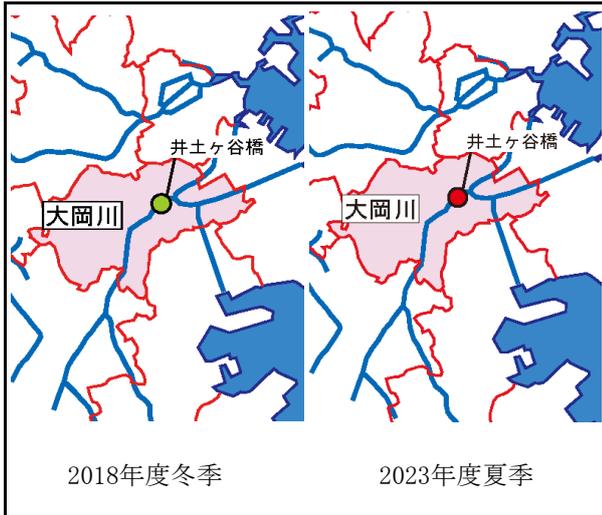
底生動物(レッドリスト等掲載種)	
モノアラガイ	★★★
ハグロトンボ	★★
ヤマサナエ	★★
コシボソヤンマ	★★
(外来種)	
アメリカザリガニ	×××××
フロリダマミズヨコエビ	××××
タイワンシジミ	××××
カワリヌマエビ属	×××
アメリカツノウズムシ	×××
ヒロマキミズマイマイ	×××
モノアラガイ科	×××(?)
サカマキガイ	×××
(その他代表種)	
ミズミズムシ科	
ウデマガリコガゲロウ	
ナガレユスリカ属	
コガタシマトビケラ	
アジアイトトンボ	
計65種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
—	
(外来種)	
オオフサモ	×××××
オオカナダモ	××××
コウガイセイキョウモ	××××
キシウブ	××××
コゴメイ	××××
オランダガラシ	××××
計、水草6種、抽水植物6種	
植物は、水草と実際の抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
オオイシソウ	★★★★★ ★★★★★
(外来種)	×××
クチビルケイソウ属 <i>Cymbella distalebiseriata</i>	
エリツケケイソウ属 <i>Sellaphora tanghongquii</i>	
(その他代表種)	
ハリケイソウ属 <i>Nitzschia palea</i>	
チャヅツケイソウ属 <i>Melosira varians</i>	
計90種	

☆★印と×印の凡例は表24と表25(p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月,2023年7~9月)

## 南区(大岡川水系)で確認された水生生物



南区内の大岡川水系1地点で調査。魚類10種、底生動物14種、水草0種、抽水植物0種、付着藻類57種を確認。主に汽水に生息する水生生物が確認された。魚類は、マハゼなどの周縁性淡水魚やチチブなどの通し回遊魚。底生動物はコウロエンカワヒバリガイ、アメリカフジツボやニホンドロソコエビなど。

2022年度冬季は「きれい」。2023年度夏季は「汚れている」。



マルタ ★★★★★



イガイダマシ ××××



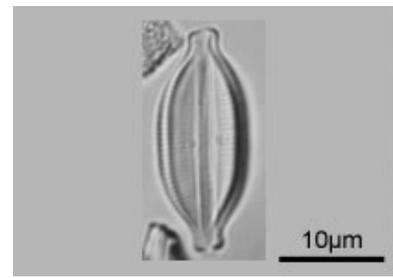
ヤマトカワゴカイ



チチブ



タテジマフジツボ ××××



ニセクチビルケイソウ属 (*A. coffeaeformis*)

魚類(レッドリスト等掲載種)	
マルタ	★★★★★
ウロハゼ	★
(在来種)	
(通し回遊魚)チチブ、ピリンゴ	
(周縁性淡水魚)ボラ、スズキ、マハゼ、アシシロハゼ、アベハゼ	
(由来不明種)	
ミナメダカ	××?
計10種(見かけ上11種)	

底生動物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
コウロエンカワヒバリガイ	××××
イガイダマシ	××××
アメリカフジツボ	××××
タテジマフジツボ	××××
カニヤドリカンザシゴカイ	×××
(その他代表種)	
ドロクダムシ属	
ユビナガスジエビ	
シロスジフジツボ	
シラタエビ	
タテジマイソギンチャク	
マガキ	
ヤマトカワゴカイ	
計14種	

水草等植物(レッドリスト等掲載種)	
-	
(外来種)	
-	
(その他代表種)	
-	
計0種	
植物は、水草と水際の抽水植物を対象	
付着藻類(レッドリスト等掲載種)	
-	
(その他代表種)	
ニセクチビルケイソウ属	
	<i>Amphora coffeaeformis</i>
チャヅツケイソウ属	
	<i>Melosira nummuloides</i>
マガリケイソウ属	
	<i>Achnanthes kuwaitensis</i>
計57種	

☆★印と×印の凡例は表24と表25 (p42)を参照のこと

(2022年12月~2023年1月,2023年7~9月)

## コラムの参考文献

### コラム2 アメリカザリガニに付着しているヒルミミズ

- 大高明史 (2004) ザリガニの体表で暮らすヒルミミズーその分布と生態. うみうし通信, (42): 2-4.
- Ohtaka, A., S. R. Gelder & R. J. Smith (2017) Long-anticipated new records of an ectosymbiotic branchiobdelliidan and an ostracod on the North American red swamp crayfish, *Procambarus clarkii* (Girard, 1852) from an urban stream in Tokyo, Japan. *Plankton Benthos Res*, 12(2): 123-128.
- 世田谷区 (2017) 平成 29 年度 河川調査(生物)報告書. 世田谷区環境総合対策室環境保全課.
- 杉並区環境部環境課 (2016) 杉並区 河川の生物ー第七次河川生物調査報告書ー.杉並区環境部環境課, 杉並区.
- 東京都立多摩科学技術高等学校科学研究部生物班 (2021) 多摩川水系のアメリカザリガニから発見された国内 3 例目のヒルミミズ *Cambarincola mesochoreus* の侵入状況と在来種に与える影響の考察. 令和 3 年度日本水産学会春季大会, ポスター発表.

### コラム3 横浜に生息するテナガエビ科

- 市川竜也・七里浩志・本山直人・堀美智子・潮田健太郎・川村顕子・川田 攻・中里亜里咲 (2020) 横浜市内の池における魚類・甲殻類 (十脚目) 相の調査結果 (第 2 報). 横浜市環境科学研究所報, (44): 33-48. 横浜市環境科学研究所.
- 七里浩志・梅田 孝・先崎 優・中里亜里咲 (2022) 横浜市金沢区におけるコンジテンテナガエビの記録. 観音崎自然博物館研究報告 たたらはま, (26): 39-40. 観音崎自然博物館.
- 玉城大己・本山直人・七里浩志・浦垣直子・潮田健太郎・中里亜里咲・川村顕子・小島 淳 (2023) 横浜の池における魚類・甲殻類 (十脚目) 相の調査結果 (第 4 報). 横浜市環境科学研究所報, (47): 44-56. 横浜市環境科学研究所.
- 玉城大己・本山直人・潮田健太郎・七里浩志・川村顕子・中里亜里咲・小川義人 (2024) 横浜の池における魚類・甲殻類 (十脚目) 相の調査結果 (第 5 報). 横浜市環境科学研究所報, (48): 62-73. 横浜市環境科学研究所.

### コラム4 相模湖から移入してくる珪藻類

- 福嶋悟・奥山美峰・青木節男・福島博 (2000) 他水系の水が流入する都市河川における水質回復に伴う珪藻群集の長期的変化. *Diatom* 16: 27-36.

### コラム5 コウガイセキショウモとセキショウモ

- 藤井伸二・牧 雅之・志賀 隆 (2016) 新外来水草コウガイセキショウモおよびオーストラリアセキショウモの同定. 水草研究会誌, (103): 8-12.
- 藤井伸二・勝山輝男・狩山俊悟・牧 雅之 (2017) コウガイセキショウモの野生化個体群を神奈川県と岡山県に記録する. *Bunrui*, 17(1): 43-47.
- 角野康郎 (2014) 日本の水草. 文一総合出版, 325pp., 東京, (2018 初版第 2 版).
- 神奈川県植物調査会編 (2018) 神奈川県植物誌 2018 電子版. 神奈川県植物調査会, 1803pp., 小田原.